

入營者職業保障法及國民勞務手帳法廢止法律案特別委員會議事速記第三號

付託議案

○入營者職業保障法及國民勞務手帳法廢止法律案

○國家總動員法及戰時緊急措置法廢止法律案

○昭和十二年法律第七十八號廢止法律案

○映畫法廢止法律案

昭和二十年十二月五日(水曜日)午前
十時三十分開會

○委員長(男爵山均君) ソレデハ只
今カラ引續キマシテ當特別委員會ヲ開
催致シマス、昭和十二年法律第七十八
號廢止ニ關スル法律案ニ付キ政府側ノ
御説明ヲ政府委員ヨリ伺ヒタイト存ジ
マス

○政府委員(木暮武太夫君) 只今議題
ニナツテ居リマス昭和十二年法律第
七十八號廢止ニ關スル法律案ノ理由
ヲ御説明申上ゲタイト思ヒマス、此ノ
際御了解願フテ置キマス、此ノ商工
大臣本日十時カラ衆議院ノ豫算委員會
ノ方ニ出席致シテ居リマス爲ニ、私カ
ラ代テ提案ノ理由ヲ御説明申上ゲマ
スコトヲ御了解願ヒタイト思ヒマ
ス、尙大臣ノ御出席ヲ是非共御要求ガ
ゴザイマス、レバ連絡ヲ取リマシテ、成
ルベク御期待ニ副フヤウニ致シマスデ
ゴザイマス、紀元二千六百年記念日本
萬國博覽會ハ、紀元二千六百年記念奉
祝事業ノ一ツト致シマシテ、昭和十五
年三月十五日カラ、同年八月三十一日
ニ至ル百七十日間、東京及ビ横濱ヲ
會場ト致シマシテ、直接經費四千四百
五十萬圓ヲ以テ開催セムト計畫サレマ

シタモノデゴザイマシテ、其ノ事業ハ
社團法人日本萬國博覽會協會ガ主催ス
ルコトニナツテ居リマシタノデゴザイ
マス、而シテ同協會ハ東京都、横濱市、
東京都商工經濟會、神奈川県商工經濟
會等ノ公共團體ヲ以テ構成分子トシテ
居ルモノデゴザイマス、博覽會ニ對シ
マスル政府ノ財政的援助ヲ致シマシテ
ハ、昭和十二年度ニ於テ、國庫補助金
五十萬圓ヲ協會ニ交付スルコト共ニ、抽
籤券附回數入場券ノ發行ヲ認ムルコト
ト致シマシテ、協會ニ抽籤券附回數入
場券發行ノ權限ヲ與ヘタノデアリマ
ス、斯ウ致シマシテ同協會ハ昭和十三
年三月十日カラ同三月二十四日ニ至ル
迄ノ十五日間ニ全國ノ郵便局、銀行、
信託會社等ヲシテ、抽籤券附回數入場
券十二券一綴リヲ一冊十圓トスル五十
六萬四千七百七十冊ヲ賣上ゲマシテ、五
百六十萬四千七百七十圓ノ實收ヲ得タ次第
デゴザイマス、然ルニ昭和十二年三月
日支事變ノ勃發ヲ見マシテ、政府ハ翌
十三年七月ニ本博覽會ノ開催ヲ延期ス
ル旨決定ヲ致シマシタガ、昭和二十年
八月十五日大東亞戰爭ノ終戰以來、到
底現下諸般ノ情勢ノ下ニ於キマシテハ
博覽會ハ開催不可能デアリマス、之
ノ中止致シマス、此ノ社團法人日
本博覽會協會ニ資金調達ノ權限ヲ付與
スル爲ニ制定致シマシタ、只今議題ニ
ナツテ居リマス紀元二千六百年記念
萬國博覽會抽籤券附回數入場券發行ニ
關スル法律ハ、其ノ必要ナキニ至リマ
シタノデ、此ノ際之ヲ廢止セムトスル
モノデアリマス、尙中止ニ伴ヒマシテ

日本萬國博覽會協會ノ過去ニ得マシタ
利得ニ付キマシテハ、發行致シマシタ
抽籤券附回數入場券一冊十圓、即チ
發行價格ヲ以テ買戻スコトニ致シタイ
ト存ジマシテ、目下其ノ手續ヲ進行セ
シメツ、アル次第デゴザイマス

○委員長(男爵山均君) 御質問ニ移
リタイト存ジマス、御發言ゴザイマセ
スカ、御發言ナイト認メマス、本法律
案ノ討論ニ移リタイト存ジマス、御意
見ノアル方ハ御發言ヲ願ヒタイト思
ヒマス、御發言ガナイヤウデゴザイマ
スカ、本案ヲ原案通り可決スベキモノ
ト認メテ差支ヘナイト致シマシテ宜シ
ウデゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵山均君) 御異議ナ
イ認メマス、デハ昭和十二年法律第七
十八號廢止法律案ハ原案通り可決致
スコトニ決定致シマシタ、速記中止

〔速記中止〕

○委員長(男爵山均君) 只今カラ速
記ヲ開始致シマス、是ヨリ入營者職業
保障法及國民勞務手帳法廢止法律案ノ
質疑ニ入りマス

○子爵野村益三君 昨ハ厚生省關係
ニ付テ二、三率直ニ御尋ラシテ、御答
ヲ得タイト思ヒマス、第一此ノ職業手帳使
用ニ關シテ、參考書ヲ戴クト、法規ニ
依ツテ手帳ヲ使用スルコトヲ要スル者
ガ一千萬人ノ勞務者デゴザイマス、隨
分是ハ大變ナコトデアリマスガ、相當
ノ效果ヲ擧ゲテ居ラル、モノト考ヘマ
ス、處デ此ノ手帳ノ使用ト云フコトハ、
私共十數年以來カラ、之ガ普及獎勵

ヲ叫ンデドウモ思フヤウニ行カヌ、唯
丁度此ノ我々ノ審議シテ居ル法案ニ示
スヤウニ、今迄ノヤリ方ト云フモノハ
何ダカ強制的デ、記載上ヤラナケリヤ
カラヌト云フヤウナ立場ニアツテギ
チナイノデス、併シナガラ今御話シタ
ヤウニ、相當ノ效果ヲ擧ゲタコトハ結
構ダト思ヒマスガ、之ヲ今度止メテマ
フト云フコトニナルト、手帳利用ト云
フト云フコトニ付テ、甚ダ物足ラナイ感
起ル、モット喜ンデ此ノ手帳ヲ利用
スルヤウニ、ダカラ政府ニ於カレテモ、
サウ云フ趣旨デ將來出來得ルダケ使
ノ獎勵、普及ト云フコトヲ圖ラルベ
キモノデヤナイカ、サウシテ一方ニ於
テ我々ノ國民ノ間ニ缺點テ居ル、最モ缺
乏シテ居ル創意工夫云フコトヲ引出
スコトニ役立ツ、創意工夫ヲ欲シテ居
ル所ハ、即チ生活ノ改善ダ、ドウモ我
サウ云フ點ニ於テモウ少シ厚生關係
デ將來ノ御考ヲ立テラルベキモノデア
ラウト斯ウ思フノデアリマス、其ノ點
ニ付テ御意見ヲ承リタイト思ヒマス、
引續イデアリマスガ、先ヅ其ノ點ヲ一
ツ

○政府委員(矢野庄太郎君) 御趣旨ハ
全ク私共御同感デアリマス、唯現在紙
ノ點ト又人ノ關係等ニ於テ差當リ之ヲ
繼續シテ行クカ、或ハ獎勵スルカ
云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセ
デ、御趣旨ノ點ハ將來ニ於テ實現ヲ圖
ツタラドウドラウ、斯ウ云フ風ニ存
ジテ居リマス

○子爵野村益三君 成程一千萬ニ近
イモノヲ急ニ掃ヘルト云フヤウナコトハ

事情ガ許サナイノデアリマスガ、何モサ
ウ悉クニ此ノ際交付スルコト云フコト
ナク、其ノ中デ我々ノ生活狀態ニ極
緊密ニ關係ヲ持ツテ居ル方面ニデモ段
段ニ之ヲヤツテ行ク、ダカラ一朝一夕
ニ私ハウマク行カヌト思フノデス、勞
務手帳ヲ見テモ之ヲウマク適用シテ居
ルカドウカムヅカシイト思フノデス、
勞務者ガデスネ、併シナガラ一方カラ
云フト、我々手帳ニ太分慣レテ居ル、
例ヘバ御互ノ子供ガ學校ニ行ク通信簿
ガアル、處ガ是ハ一千萬以上モアルデ
セウ、ソレカラ國民體力法ニ依ル國民體
力手帳ガアル、是ハドウデセウ、其ノ
後ノ計算ハ知リマセウガ、一千萬ニ近
イデヤナイデセウカ、ソレカラ軍隊
ニ行ケバ今ハ止メタカモ知レマセウガ
ガ我々親シミガアルノダケレドモ、
ドウモ其ノ適用ガウマク行カナイ、職
業ノ勞務ノ方ノ關係カシ言ヒマス、例
ヘバ我々共ノ下女ノ拂込デオ互ノ家内
ガ奔命ニ疲レテ居ル、婦人參政權ト云
フモノヲ斯ウ云フ點ニ於テ、疲レタ主婦
ニ向ツテ果シテ豫期ノ如ク行カドウカ
問題デアル、サウ云フヤウナコトデア
リマスガ、今ノ下婢ノ問題、下女ノ問
題、ドウセ我々ノ家庭デモ斯ウ云フ按
排デ家内ガ一人デ切廻シテ行クコト云
フコトハ不可能デアル、將來ハ矢張り下
女ト云フモノガ立派ニ職業ニナ
ル、ソレニハ先進國デ二十年、三十年
前カラヤツテ居ル下女ノ手帳ト云フコ
トモ必要デアラウト思フ、今下女ト云
フモノハ、オ互ノ所ニ來ル奴ハ皆嘘ヲ

入營者職業保障法及國民勞務手帳法廢止法律案特別委員會議事速記第三號

昭和二十年十二月五日【貴族院】

入營者職業保障法及國民勞務手帳法廢止法律案特別委員會議事速記第三號

昭和二十年十二月五日【貴族院】

入營者職業保障法及國民勞務手帳法廢止法律案特別委員會議事速記第三號

昭和二十年十二月五日【貴族院】

入營者職業保障法及國民勞務手帳法廢止法律案特別委員會議事速記第三號

ツイテ居ル、體ノ宜イコトヲ言フテ條
件ガ惡イトヤメテ、サウシテ他ノ所ニ
行ツテ職ヲツク、サウ云フコトハ私ハ
甚ダ宜クナイ、ダカラサウ云フ手帳ヲ
設ケテ、サウシテソレニ本當ノコトヲ
書イテ行クナラバ、立派ナ職業トシテ
立派ナ生活ガ出來ルノデアリマス、ソ
レガ一つノ條入リノ重要ナ資材ニナル
ト思フ、是モ厚生省ノ人ニ私共十年前
カラ言ツテ居ルガ、ナカ／＼實現ヲシ
ナイ、他ニモ色々手帳ノ利用ト云フコ
トモアルデセウガ、取締ト云フコトガ
ナイ、彼等ヲ能ク利用シテ又彼等ノ地
位ヲ、生活ヲ向上セシムルコト云フ趣旨
デ、サウ云フ深切心ヲ持ツタヤウナ考
ヘデ手帳ヲ持ヘテ、或ルベク之ガ使用
ヲ許サス、斯ウ云フコトガ最も必要ダ
ト思フ、ソレハ他日ノ問題ダト仰シヤ
ラズニ出來ル方面ニ於テボツ／＼オヤ
リニナツテ宜イ、ドウカソレヲ一ツ政
務次官ノ方デ御考ニナツテ是非一ツ實
現スルヤウニ御骨折ヲ願フテ實ヒタ
イ、モウ一ツハ是ハ石炭問題デアリマ
スガ、石炭ノ勞務者ノ問題、お互ニ困
ツタモノデス、ドウシテモ一箇月四百
萬「トン」掘ラネバナラヌモノガ、此ノ
夏カラ百五十萬ニナリ、今ハ五十三萬
「トン」シカ出ナイ、手持ノモノヲ併セ
テ九十萬「トン」デアリマス、日本ノ
工業ノ能ク動カスニハ百五十萬「トン」
要ル、鐵道サヘモ七十五萬「トン」要ル、
瓦斯デモ十三萬「トン」要ル、ソレガ今
手持デ以テ九十萬「トン」シカナイ、是
ハ非常ニ恐慌ヲ來シテ居ル、一體ドウ
云フコトニ立到ツテ居ルノデアラウ
カ、無論勞務者ノ關係ダト思ヒマス、
其處デ厚生省ノ方ニ御尋ネスルノデア
ルガ、一體其ノ勞務關係ハドウ云フヤ
ウナ計算ニ依ツテ此處迄持ツテ來タモ

ノデアルカ、我々モ多少ハ知ツテ居リ
マスガ、ソレヲ一ツ具體的ニ御話ヲ願
ヒタイ、サウシテ此ノ對策ヲドウスル
カ、差向十三萬人ノ勞務者ヲ得ルト云
フノ今募集サレテ居リマススケレド
モ、七萬人ニ對シテマダ七千幾ラシカ
申込ガナイ、是非非常ニ心配ナコトデ
ス、炭礦ノ事業ヲ繼續スルニハ九十七
萬人ノ勞務者ガ要ルト云フ、ソレガ今
非常ニ困ツテ十三萬人ヲ補給スルノ
來年ノ三月迄掛カル、現在ノ募集ノ七
萬人ニ對シテ七千幾ラシカナイ、是ハ
容易ナラナイ、ソコデ是ハ政務次官ハ苦
勞人デ居ラレカ同フノデスガ、今
迄ノ勞務關係、殊ニ石炭ノ勞務者關係
デ厚生省ガ商工省ナリ、運通省ナリニ
交渉サレタ其ノ點ニ於テ何カ至ラナイ
點ガアルノデヤナイカ、今カラ御考ニ
ナツテ、ソレヲ一ツ率直ニ……何カ各
メル譯デナク、御互ニ憂フル點カラ、
將來ノ對策ヲ考ヘル上カラ考ヘル譯デ
スガ、何カ協調連絡ト云フ點ニ於テ、
今カラ考ヘテ見ルト、ドウモ足りナイ
所ガアルノデヤナイカト云フヤウナ御
氣ツキハナイカドウカ、サウ云フコト
ヲ率直ニ伺ツテ見タイト思ヒマス

○政府委員(矢野庄太郎君) 只今野村
サンカラ家庭使用人ニ付テ手帳ヲ持タ
シタラドウカ、十年以來之ヲ議會ニ於
テ言ツテ居ルガ、厚生省ニ於テ一向ニ
取上ゲナイ、是ハドウカト云フ御尋デ
アリマス、只今申上ゲタヤウニ單ニソ
レガ役人ノ數ノ關係カラ、一般のニ考
ヘテハ差當リ手帳ヲ各職業者ニ互ツテ
持タセルト云フコトハ考ヘラレヌト思
ツテ居ルノデゴザイマスガ、能ク省ノ
方ニ歸リマシテ、事務當局ト相談致シ
マシテ何カ善處出來ルカドウカ調ベテ
見タイト思ヒマス、ソレカラ石炭勞務

者ノ不足ニ付テハ誠ニ御説ノ通り憂慮
スベキ狀態ニアリマス、元來野村サン
モ能ク御承知ノ通り、今迄ノ失業問題
ハ人ガ澤山ニ餘ツテ失業者ガ出來タ、
處ガ今日ハ人ヲ求ムル所ガアルノニ、
サウシテ遊ンデ居ル人間ガ澤山居ルノ
ニ、就職スル希望者ガナイト云フ所ニ
此ノ終戦後ノ失業問題ノ特異性ガアル
ノデヤナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス、
所謂勞務意欲ト云フモノガ起ラナイト
云フ所ニ今日ノ失業問題ノ特異性ガア
ルノデヤナイカ、ソレニハ其ノ原因ト
シテ色々アルデアリマセウガ、私ハ終
戰ニ對シテ色々ノ會社等ニ於テ、マア
軍需會社ニ於テ法外ト云ツテハ言ヒ過
ギカモ知レマセウガ、非常ニ澤山ノ退
職手當金ヲ出シタ、ソコニ誤リガアル
ノデヤナイカ知ラヌ、從ヒマシテ其ノ
退職手當金ヲ食ヒ盡シタナラバ職ヲ求
ムル人間ガ非常ニ澤山ニ殖エテ來テ、人
ヲ求ムル方ニ餘裕ガ出來ルノデヤナイ
カ、要スルニ假スニ相當ノ時日ヲ以テ
シナケレバ此ノ解決ハ至難デハナイカ
ト思ヒマスガ、サリトテ厚生省ガ懷手
デ之ヲ傍觀スルト云フ譯ニハ參リマセ
ス、色々勞働意欲ヲ昂揚スル爲ニ事務
次官等ガ「ラジオ」放送シタリ、或ハ
商工大臣モ先般非常ニ熱心ナル所ノ放
送ヲサレタノヲ私ハ直接聴イタリナド
致シテ居リマスガ、差當リテノ問題デ
實ハ非常ニ困ツテ居リマス、率直ニ申
上ゲマスト困ツテ居リマス、只今ノ
處、ドレダケ人數ノ不足ガ出來タカ、
後デ局長カラ數字ヲ御示シ致シマス
ガ、豫定ハ、言ハレマシタル通りニ本
年中ニ六萬人、來年三月迄ニ七萬人ヲ
募集シナケレバナラヌ、ソレダケ人ヲ
入レナケレバナラヌト云フコトニ相成
ツテ居ルノデアリマス、マア有ラユル

手段ヲ盡シテ努力ヲ致シタイト思ツテ
居リマス、又商工省トノ方ノ連絡ニ於
テ或ハ四兩滿リ缺イタトカ或ハ意見ガ
違ツタトカ云フヤウナコトハ私ハナイ
ト承知ヲ致シテ居リマス、是ダケ御答
ヲ致シマシテ、數字等ニ付テハ局長カ
ラ申上ゲマス

○政府委員(佐伯勉男君) 炭坑勞務ノ
問題デゴザイマスガ、只今御話ガゴザ
イマシタヤウニ今日石炭ノ減産ヲ來シ
テ居リマスル主要ナル原因ハ、勞務ノ
問題ニ胚胎致シテ居ルト存ジテ居リマ
ス、終戦時ニ於キマシテハ石炭山ニ約
四十萬人近クノ在籍者ガ居ツタノデゴ
ザイマスガ、丁度昨年ノ九月、十月頃
カラ工場勞務者ノ徵用ニ依リマシテ相
當石炭山ニ持ツテ來テ居ツタノデゴザ
イマスガ、其ノ期限ガ満了シタノモゴ
ザイマスシ、又終戦ト云フコトニ依リ
マシテ石炭山カラ段々出テ行ク者等モ
ゴザイマシテ、九月末現在ニ於キマシ
テハ三十三萬人ニ急激ニ減ツテ居リマ
ス、ソレト今日石炭生産ニ一大支障ヲ
與ヘマシタモノハ、言フ迄モナク華人、
半島人勞務者ガ現地ニ於キマシテ色々
騷擾ヲ起シマシテ、又意業スルト云フ
コトニ依リマシテ、殊ニ山ニ居リマス
人ハ朝鮮人ガ先山ノ大部分ヲ占メテ居
ルト云フヤウナ山モアルノデゴザイマ
ス、其ノ爲ニ一時石炭ノ生産ガ殆ド「ス
トツプ」ラシタ、坑夫ノ華人、朝鮮人
ノ騷擾、暴行等ニ依リマシテ内地人ノ
勞務者モ山ノ中ニ入ルコトヲ危險ヲ感
ジマシテ、北海道等ニ於キマシテハ逃
廻ルト云フヤウナ騷擾モアリマシテ、
其ノ爲ニ石炭ノ生産ニ非常ニ支障ヲ來
シタコトハ事實デゴザイマス、併シナ
ガラ御聞及ビノヤウニ其ノ後段々各方
面共其衝動致シマスシ、又聯合國側ノ協

力等ヲ得マシテ華人、朝鮮人ヲ大分送
還致シマシタシ、十二月十日前後ニ於
テ殆ド送還ヲ終了スルト云フコトニ相
成ツテ參リマシタシ、又治安ノ面ニ於
キマシテモ非常ニ落著ク見ツ、アルノ
デアリマシテ、今後マアサウ云フヤウ
ナ騷擾ハナイト思ヒマスガ、サウナリ
マスト云フト、今迄石炭山ニ朝鮮人ガ
十二萬五千人、華人ガ一萬人近ク居リ
マシタガ、十三萬以上ノ穴ガ明ク譯デ
アリマシテ、即刻之ニ對シマシテ勞務
者ノ充足ヲ圖ラナケレバナラヌト云フ
コトハ當然問題ニナル譯デゴザイマ
ス、從ヒマシテ御話ガアリマシタヤウ
ニ本年末迄ニ六萬人、更ニ來年一月及
三月迄ニ七萬人、十三萬人急速ニ充足
シナケレバナラヌト云フコトデ、先月
ノ五日ニ全國ノ各縣ノ勤勞課長ノ召集
シマシテ、各縣ニ供出數ヲ相當マシ
テハ、何ト云ヒマシテモ石炭ノ増産ヲ
ヤラナケレバ日本ガ立上ルコトハ出來
ナイト云フコトデ、十分ニ石炭ノ事情
ヲ認識セシメマシテ、ソレニ依リマシ
テ各縣デモ勞務者ノ募集ニ相當大意ニ
ナツテ活動ヲ致シテ居ル現狀デゴザイ
マス、的確ニ現在迄ノ供出ノ數字ハ昨
日無電デ各縣カラ取ルコトニナツテ居
ルノデゴザイマスガ、色々故障等モアリ
マシテ的確ナ數字ヲ得ラレマセウ
ガ、今明日中ニ的確ナ數字ガ得ラレル
ト思ヒマスガ、新聞ニモ出テ居リマシ
タヤウニ十一月ノ五日勤勞課長會議ヲ
開キマシテ、十一月十九日迄ノ數字ガ
約七千九百二人、マア八千人近クニナ
ツテ居リマスカラ、是ハ全體ノ數カラ
見マスト非常ニ少イノデゴザイマス
ケレドモ、唯私共ノ執リマシタ方針ト致
シマシテハ、十一月ノ五日カラ二十日
迄ノ供出ノ府縣ト受入ノ府縣ト、受入

ノ山ノ割當ナリ何ナリニ付キマシテ能ク連絡ヲ執ツテ、十一月二十日カラ本格的ニ募集ニ掛リマス順序デ居リマスノデ、十一月二十日迄ニ約八千人近ク應募者ヲ見タト云フコトハ出シトシテハ必ズシモサウ悲觀スベキ數字デハナ

論十分ニヤツテ居ルト云フコトモゴザイマスルガ、昨年來厚生省ニ於キマシテハ石炭勞務對策委員會ト云フ委員會ヲ設ケマシテ、各省共緊密ナ連絡ヲ圖ツテ居リマスルバカリデナク、毎日ノヤウニ顔ヲ合セマシテ、勞務者ノ問題ニ付キマシテモ相談ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、今後共十分サウ云フ點ニ付キマシテハ、協力致シタイト思ヒマス、御了承願ヒマス

○子爵野村三君 ドウモマダ我々共心配ニ耐ヘナイノデ、結局徵用令、徵用シナケレバナラヌト云フコトニナルンデセウナ、ソレガ一つ、ソレカラ今ノ石炭ノ問題ニ付テハ石炭勞務ノ問題ニ付テハ、關係官廳ト出來ルダケノ連絡協調ヲ執ツテ居ラレト云フコトハサウデセウ、併シ厚生省ノ從來ノ立場カラ見マス、ドウモ其ノ關係官廳ト十分ナ協調連絡ヲ遂ゲルト云フヤウナ點ニ於テ、我々共ノ頗ル遺憾ニ耐ヘナイコトガ澤山アル、是ハ後デ申上ゲケレバナラヌト、斯ウ云フ氣ガスルノデスガ、サウ云フ風ニ考ヘテ宜シイデセウカ

○政府委員(矢野庄太郎君) 只今局長カラ御答辯申上ゲマシタヤウニ、モウ數日ノ中ニ各府縣カラノ狀況ガ報告サレマスノデ、其ノ報告ヲ待ツテ其ノ上デ所謂強權ヲ用ヒルカドウカ決定シタイ、斯ウ云フ風ニ思ツテ居リマス

○子爵野村三君 丁度好イ機會デアリノデ私ハ此ノ厚生省ノ仕事ニ付テ御同僚ヲ申上ゲ、又期待スル點ニ於テ、少シ徵用政策ト言ヒマスカ何ツテ見タイ、厚生省ノ徵用政策トシテハ三ツアルダラウト思フ、一ツハ國民生活ノ改善アル、第二ハ國民體力ノ向上デア

ノ山ノ割當ナリ何ナリニ付キマシテ能ク連絡ヲ執ツテ、十一月二十日カラ本格的ニ募集ニ掛リマス順序デ居リマスノデ、十一月二十日迄ニ約八千人近ク應募者ヲ見タト云フコトハ出シトシテハ必ズシモサウ悲觀スベキ數字デハナ

○子爵野村三君 ドウモマダ我々共心配ニ耐ヘナイノデ、結局徵用令、徵用シナケレバナラヌト云フコトニナルンデセウナ、ソレガ一つ、ソレカラ今ノ石炭ノ問題ニ付テハ石炭勞務ノ問題ニ付テハ、關係官廳ト出來ルダケノ連絡協調ヲ執ツテ居ラレト云フコトハサウデセウ、併シ厚生省ノ從來ノ立場カラ見マス、ドウモ其ノ關係官廳ト十分ナ協調連絡ヲ遂ゲルト云フヤウナ點ニ於テ、我々共ノ頗ル遺憾ニ耐ヘナイコトガ澤山アル、是ハ後デ申上ゲケレバナラヌト、斯ウ云フ氣ガスルノデスガ、サウ云フ風ニ考ヘテ宜シイデセウカ

○政府委員(矢野庄太郎君) 只今局長カラ御答辯申上ゲマシタヤウニ、モウ數日ノ中ニ各府縣カラノ狀況ガ報告サレマスノデ、其ノ報告ヲ待ツテ其ノ上デ所謂強權ヲ用ヒルカドウカ決定シタイ、斯ウ云フ風ニ思ツテ居リマス

○子爵野村三君 丁度好イ機會デアリノデ私ハ此ノ厚生省ノ仕事ニ付テ御同僚ヲ申上ゲ、又期待スル點ニ於テ、少シ徵用政策ト言ヒマスカ何ツテ見タイ、厚生省ノ徵用政策トシテハ三ツアルダラウト思フ、一ツハ國民生活ノ改善アル、第二ハ國民體力ノ向上デア

○子爵野村三君 丁度好イ機會デアリノデ私ハ此ノ厚生省ノ仕事ニ付テ御同僚ヲ申上ゲ、又期待スル點ニ於テ、少シ徵用政策ト言ヒマスカ何ツテ見タイ、厚生省ノ徵用政策トシテハ三ツアルダラウト思フ、一ツハ國民生活ノ改善アル、第二ハ國民體力ノ向上デア

ノ山ノ割當ナリ何ナリニ付キマシテ能ク連絡ヲ執ツテ、十一月二十日カラ本格的ニ募集ニ掛リマス順序デ居リマスノデ、十一月二十日迄ニ約八千人近ク應募者ヲ見タト云フコトハ出シトシテハ必ズシモサウ悲觀スベキ數字デハナ

○子爵野村三君 ドウモマダ我々共心配ニ耐ヘナイノデ、結局徵用令、徵用シナケレバナラヌト云フコトニナルンデセウナ、ソレガ一つ、ソレカラ今ノ石炭ノ問題ニ付テハ石炭勞務ノ問題ニ付テハ、關係官廳ト出來ルダケノ連絡協調ヲ執ツテ居ラレト云フコトハサウデセウ、併シ厚生省ノ從來ノ立場カラ見マス、ドウモ其ノ關係官廳ト十分ナ協調連絡ヲ遂ゲルト云フヤウナ點ニ於テ、我々共ノ頗ル遺憾ニ耐ヘナイコトガ澤山アル、是ハ後デ申上ゲケレバナラヌト、斯ウ云フ氣ガスルノデスガ、サウ云フ風ニ考ヘテ宜シイデセウカ

○政府委員(矢野庄太郎君) 只今局長カラ御答辯申上ゲマシタヤウニ、モウ數日ノ中ニ各府縣カラノ狀況ガ報告サレマスノデ、其ノ報告ヲ待ツテ其ノ上デ所謂強權ヲ用ヒルカドウカ決定シタイ、斯ウ云フ風ニ思ツテ居リマス

○子爵野村三君 丁度好イ機會デアリノデ私ハ此ノ厚生省ノ仕事ニ付テ御同僚ヲ申上ゲ、又期待スル點ニ於テ、少シ徵用政策ト言ヒマスカ何ツテ見タイ、厚生省ノ徵用政策トシテハ三ツアルダラウト思フ、一ツハ國民生活ノ改善アル、第二ハ國民體力ノ向上デア

○子爵野村三君 丁度好イ機會デアリノデ私ハ此ノ厚生省ノ仕事ニ付テ御同僚ヲ申上ゲ、又期待スル點ニ於テ、少シ徵用政策ト言ヒマスカ何ツテ見タイ、厚生省ノ徵用政策トシテハ三ツアルダラウト思フ、一ツハ國民生活ノ改善アル、第二ハ國民體力ノ向上デア

ノ山ノ割當ナリ何ナリニ付キマシテ能ク連絡ヲ執ツテ、十一月二十日カラ本格的ニ募集ニ掛リマス順序デ居リマスノデ、十一月二十日迄ニ約八千人近ク應募者ヲ見タト云フコトハ出シトシテハ必ズシモサウ悲觀スベキ數字デハナ

○子爵野村三君 ドウモマダ我々共心配ニ耐ヘナイノデ、結局徵用令、徵用シナケレバナラヌト云フコトニナルンデセウナ、ソレガ一つ、ソレカラ今ノ石炭ノ問題ニ付テハ石炭勞務ノ問題ニ付テハ、關係官廳ト出來ルダケノ連絡協調ヲ執ツテ居ラレト云フコトハサウデセウ、併シ厚生省ノ從來ノ立場カラ見マス、ドウモ其ノ關係官廳ト十分ナ協調連絡ヲ遂ゲルト云フヤウナ點ニ於テ、我々共ノ頗ル遺憾ニ耐ヘナイコトガ澤山アル、是ハ後デ申上ゲケレバナラヌト、斯ウ云フ氣ガスルノデスガ、サウ云フ風ニ考ヘテ宜シイデセウカ

○政府委員(矢野庄太郎君) 只今局長カラ御答辯申上ゲマシタヤウニ、モウ數日ノ中ニ各府縣カラノ狀況ガ報告サレマスノデ、其ノ報告ヲ待ツテ其ノ上デ所謂強權ヲ用ヒルカドウカ決定シタイ、斯ウ云フ風ニ思ツテ居リマス

○子爵野村三君 丁度好イ機會デアリノデ私ハ此ノ厚生省ノ仕事ニ付テ御同僚ヲ申上ゲ、又期待スル點ニ於テ、少シ徵用政策ト言ヒマスカ何ツテ見タイ、厚生省ノ徵用政策トシテハ三ツアルダラウト思フ、一ツハ國民生活ノ改善アル、第二ハ國民體力ノ向上デア

○子爵野村三君 丁度好イ機會デアリノデ私ハ此ノ厚生省ノ仕事ニ付テ御同僚ヲ申上ゲ、又期待スル點ニ於テ、少シ徵用政策ト言ヒマスカ何ツテ見タイ、厚生省ノ徵用政策トシテハ三ツアルダラウト思フ、一ツハ國民生活ノ改善アル、第二ハ國民體力ノ向上デア

テ職梅ヲシテ行クト云フト、ソコニ榮
業モ出レバ「カローリ」モ出ル、創意工
夫ヲ働カスコトデ、米ガ足りナイ、麥
ガ足りナイト云フケレドモ、モット調
理ノ方面デ考ヘレバ、足りナイニハ足
リナイガラニソコニ融通ガ付ク、私
ハサウ云フ點ニ於テ國民モ考ガ足りナ
ケレバ、指導ノ立場ニアル厚生省ノ努
力モ足りナイノダト思フガ如何デス
カ、ドウカサウ云フ點ニ於テモウ少シ
御研究ニナレバ宜イト思フノデス、第
二ハ國民體力ノ向上デスガ、國民體力
法ハ言フ迄モナク世界ニナイ立法デア
リマス、日本ガアレヲ出シタノハ非常
ナ雄大ナル見識ト、遠大ナル形態ノ下
ニ作ラレタ、我々モ厚生省デモ特別ニ
委員長モヤリ、議會ニ於テモ特別委
員長デ、大分研究モシマシタ、アノ結果
ハ一體ドウナツテ居ルカ、現在杏トシ
テ話ヲ聞カナイ、斯ウ云フ時ニ出來ル
ダケ御ヤリニナラナケレバ相成ラヌト
思フ、體力ノ向上ト云フモノハ、サウ
云フ點カラ榮業論ヲ言フノデスガ、此
ノ經過ヲ一ツ御話ヲ願ヒタイ、第三ハ
今ノ勞務者ニ對スル施策デアリマス
ガ、是ガ足りナイ、一體勞務教育ト云
フモノハ、何處デ何ヲシテ居ルノデス
カ、青年學校ト云フ一片ノ名ニ隠レテ、
文部省ガ之ヲ掌ツテ居ルガ、厚生省ノ
側カラ見ルト云フト、殆ド何モシテ居
ナイ、勞務教育、ソレカラ此ノ勞務者
ノ利用、是モ重要ナル問題デアリマス、
第三ニハ勞務者ノ保護、地位ノ向上ト
云フコトモ考ヘナケレバナラヌ、是ハ
マア保險ガアリマスカラ、今ノ所ハ厚
生省ノ大部分ノ役人ハ保險ノ方ニ掛
ツテ居ラレル、併シ私ハソレデケデハ
足りナイト思ヒマス、今ノ御話シタヤ
ウニ厚生省ノ三大施策ト云フモノハ、

第一ハ國民生活ノ改善、第二ハ國民體
力ノ向上、第三ニハ勞務者ニ對スル施
策、此ノ三ツガ厚生省ノ使命デアル、此
ノ點ニ於テモット一層ノ御努力ヲ願ヒ
タイト云フコトト、ソレカラ話ハ元ニ
戻リマスガ、矢張り之ヲ實行スルニハ
他ノ官廳トノ協調、連絡ト云フモノヲ
十分ニヤラヌト出來ナイ、ソコデサツ
キモ觸レタノデアリマスガ、例ヘバ國
民體力ノ向上ト云フタラ無論文部省ト近
寄ル、國民學校ノ生徒デモ一千萬……
處ガソコガドウナルデアラウカ、文
部省ニハ學校ノ身體檢査ト云フモノガ
アル、ソレガ國民體力法ニ規定シテア
ル檢査トドウヤツタラ宜イカト云フコ
トヲ十分打合セタ上デナケレバナラ
ヌ、今後はハドウナルカ分ラナイガ、
初メニ文部當局ト厚生當局トガ話合ガ
出來ズニ委員會ニ掛ケルト云フノハ間
違ツテ居ル、委員長トシテハサウ云フ
コトデハイカスト思フ、過去ニ於テハ
サウ云フ點ニ付テモ十分ナル協調、連
絡ガ缺ケテ居ツタ、是カラモドウカ其
ノ點ニ於テ十分ニ御協力願ハヌトイカ
ヌ、食糧ノ問題デモ、生活ノ問題デモ、
是ハ農林省ト云フモノガアルガ、是モ一
層ノ協調、協力ヲ願ヒタイ、勞務者ノ關
係デ言ツテモ、是ハ方々ノ方面ト協調、
連絡ヲ爲サル必要ガアル、ソレデ問題
ハ厚生省ノ使命デアル三大重要施策ヲ
實行ナサル上ニ於テ、尙一層ノ努力ヲ
願ヒタイガ、最も必要のニ願ヒタイノ
ハ、是迄モデアリマセウガ、ヨリ以上
關係官廳トノ協調、連絡ヲ御執リニナ
ルコトヲ願ヒタイ、是ハ質疑デアリマ
スカ、希望デアリマスカ知レマセウガ、
サウ云フコトヲ直接ニ感ズル、一ツ政
務次官モ能ク御考ヘ下サイマシテ、大
臣ニモ能ク御話願ツテ御努力ヲ願イタ

イト思ヒマス
○政府委員(矢野庄太郎君) 只今野村
サンカラ 厚生省ノ三大施策ニ付テ、
多年ノ御研究又御體驗ニ依ツテ色々私
共今迄氣付カナイコトニ付テ御高説ヲ
伺ヒマシタコトヲ非常ニ感謝致シマ
ス、生活ノ改善ニ付テハ、終戦後ノ今
日、私モ最も關心ヲ持ツテ居ル一ツノ
問題デゴザイマス、只今御示シナリ
マシ、榮業食、「カローリ」ニ關スル事
柄モ、素人デハゴザイマスルケレドモ、
私個人トシテモ研究ヲシテ見タイ、斯
ウ存ジマシテ、先般厚生研究所ノ榮業
學ノ博士ヲ政府委員室ヘ呼ビマシテ、
色々榮業ニ關スルコトヲ伺ツタノデア
リマス、是ハ食糧ノ不足ノ今日、野村
サンノ言ハル、通りニ本當ニ厚生省ガ
研究ヲシテ、サウシテ國民ヲ指導シテ、
榮業食ニ關スル知識ヲ普及シナケレバ
ナラヌト思ツテ居リマス、是ハ難題ニ
シテデゴザイマスガ、私始メテ聞イタ
ノデアリマスガ、例ヘバ一日ニ三十匁
ノ肉ヲ食ベルニシテモ、朝ト晝ト晩ト
ニソレヲ等分シテ食ベルノト、一度ニ
食ベルノトハ我々ノ血ヲ増シ、肉ヲ増
シ、又「カローリ」ヲ増ス點ニ於テ大變
違フ、一週ニ食ベチヤイカスノダ、三
回ナラ三回ニ等分シテ食ベナクチャナ
ラヌト云フヤウナコトモ始メテ聞イタ
ノデアリマス、是ハナカノノ國民ニ榮
養食ノ知識ヲ普及シテ、之ヲ實踐ノ場
所ニ於テ實行サスニハ、餘程力ヲ入レ
ナケレバナラヌト思ツテ居リマス、先
ジ榮業學士ノ養成カラシテ掛ラナケレバ
ナリマセウ、相當經費ノ掛ラコトト存
ジマスガ、是非ヤツテ見タイト思フデ
居リマス、ソレカラ住宅問題ハ實ハ押
入ヲ一間デハ不都合ナデ、二間ニヤ
ラナケレバナラヌト云フコトハ私ハ始メ

テ伺ツタノデアリマシテ、サウ云フ知識
ヲ持ツテ居リマセウガ、住宅ノ問題ハ
厚生省ノ直接ノ問題デハアリマセウ、
今度ハ復興院ト云フモノガ出來テ、小
林サンノ御裁ノ下ニヤツテ敷コトニ
ナツテ居リマスノデ、直接住宅ヲ建テ
ルト云フコトハ、厚生省ノ問題デハア
リマセウケレドモ、今御説ノ通りニ生
活改善ト云フコトハ、之ヲ一ツ切離シ
テ考ヘルコトハ出來マセウ、總デニ互
ツテ研究シナケレバナリマセウノデ、
厚生省ニ於ケマシテモ只今御示シノヤ
ウナコトハ十分研究シテ、國民ニサウ
云フコトヲ知ラシメルコトガ必要デア
ルト思ヒマス、ソレカラ只今勞務者ニ
對スル教育ガ不十分ダト云フ御話デゴ
ザイマシタ、是ハ第三ノ御示シデゴザ
イマシタガ、誠ニ私モ不十分ダト思ヒマ
ス、是ハ何トカ一ツ厚生省トシテハ考
ヘ直シテ行カケレバナラヌトス様ニ
存ジテ居リマス、ソレカラ體力檢査デ
スガ、是ハ御承知ノ通り戰爭中非常ニ
日本ノ國民ノ體力ガ低下致シテ居リマ
スルノデ、元來國民體力檢査ヲ始メタ
時ハ、戦力増強ノ一ツトシテヤツタノ
デアラウカト思ヒマスケレドモ、終戦
後モ引續イテ之ヲヤツテ行キタイトス
様ニ存ジテ居リマス、其ノ經過ニ付テ
報告セヨト云フ御話デゴザイマスガ、
實ハ甚ダ申上ゲニクイコトデゴザイマ
スケレドモ、就任刻々デ其ノ經過ニ付
テハ私承知致シテ居リマセウノデ、其
ノ點ハ他ノ機會ニ於テ他ノ政府委員カ
ラ御答申上ゲタイト思ヒマス、大體不
十分ナ答辯デゴザイマスルガ、一ツ御
諒承ヲ願ヒマス、ソレカラ各省トノ連
絡ヲ執レト云フ御話デゴザイマシタ
ガ、一體日本ノ役所ハドウモ連絡ガ執
リニクイヤウニ出來テ居ルヤウデアリ

マス、私役人トシテハ經驗ガ乏シイノ
デゴザイマスガ、ドウモ連絡ガ執リニ
クイ、何カト云フト是ハ外務省ノ仕事
ダ、是ハ俺ノ仕事ダト云フヤウナコト
ヲ言フヤウデアリマス、例ヘバ朝鮮人
ヲ送還スル、又朝鮮在留ノ日本人ヲ還
スト云フヤウナコトデモ、内地ニ在
住シテ居ル朝鮮人ヲ還スノハ厚生省ノ
仕事デアルケレドモ、向フニ住ンデ居
ル人間ヲ還スノハ外務省ノ仕事ダカ
ラ、厚生省ハ知ラヌト云フヤウナコト
ヲ言ヒマスガ、サウ云フコトデハ今後
日本ヲ再建シテ行クニ付テハ非常ニ不
都合デアルカラ、此ノ點ハ十分私モ改
革シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマ
ス、何カト不十分ノ點ガ澤山アラウト
思ヒマスガ、是ヲ以テ御答ト致シマス
○渡邊總務局長 時局ノ要請ニ基キテ國
民勞務手續法ノヤウナ、勞務統制ト云
フ枠ヲ外スノハ、誠ニ結構デアラウト
存ジマスケレドモ、戰災地ニ於ケル勞
務ノ動員トカ供出トカ云フコトニ付テ
政府ハ何カ之ニ代ル、モット強力ナ
方法ハ御考ニナツテ居リマスガ、一例
ヲ取ツテ申上ゲテ見マス、水戸市ニ
於テ、水戸市ハ八月二日ニ戰災ニ罹ツ
タノデスガ、其ノ復興、殊ニ住宅ノ建
築ニ付テ、資材及ビ勞務ノ色々窮屈
サカラ、一種ノ闇ガ行ハレテ居ル、是
ハ既ニ政府デモ御存ジダラウト思フノ
デス、之ヲ見兼ネマシテ、市當局ガ
土地ノ有力者カラ寄附金ヲ求メマシ
テ、サウシテ復興住宅協會ト云フモ
ノヲ樹テマシテ、ソレハ九月十三日デ
スガ、縣トモ協力シマシテ、知事モ是
非トモ、是ハ水戸市デヤツテ呉レト云
フノデ、市民ノ住宅建築ニ取リ掛ツタ
其ノ當時ノ民間ニ於ケル建築費用ト云
フモノハ疊、建具ヲ入レナイデ、「バ

ラツク」デ以テ千圓カラ千四百圓掛
ツテ居ル、是デハ誠ニ市民ガ困ルト云
ノデ、其ノ復興住宅協會ヲ作リマシテ
其ノ當時建設費ト云フノガアリマ
シテ、ソレニ建設費御委セシメテ、
ソレデ其ノ計算ニ依リマス、坪五百
圓内外出ルルト云フ証ヲス、九月十
三日デ、年内二千五百戸建築シ得ル
云フ見込ガ立ツタ、木材ノ方ハ地元ノ
地方木材會社(賴)ンデ一定敷出ス
ト云フ、ソレカラ勞務ノ方ハ、是ハ警
察部長ニ話シマシテ、是モ或ル程度確
保スルト云フノデ、千五百戸年内ニ建
ツト云フ日論ミガ立チマシタ、ソレカ
ラ坪當リ、先程申シマシタヤウニ五百
圓見當デ出ルルト云フ確信ヲ得マシタ
ノデ、之ヲ市民ニモ話シマシテ、此
ノ建築ニ取リ掛ツタノデ、併シナガ
ラハ農林省關係デスカラ木材ノコト
ハ又他ノ機會ニ農林當局ニモ申上ゲル
積リデスガ、此ノ勞務ノ方ハナカ
思フヤウニ出マセス、是ハ既ニ御存ジ
デゴザイマセウ、殊ニ勞務報國會ガ
解散ニナリマシテ、勞務協會ガ出來テ、
其ノ所管ガ警察署カラ動員員署ニ移
ツタラシメテ、サウナリマシテ動員
ノ配分ト云ヒマス、ソレガ利カナク
ナツタ爲カ、殊更最近ニ於テハ勞務ガ
出ナイ、千人動員ヲ掛ケテモ五六
人ヤツト出ルト云フヤウナ程度デア
リマス、ソレデハ市當局ガ何カ手サ
カアルデヤナイカト云フノデ色々研究
シマシタ、勞務者ニ對スル食糧ノ加配、
軍カラ拂下ゲタ被服ナドモ給與シテ
相當ノ待遇ハ與ヘテ居リマスガ、併
シ之ヲ民間ニ於ケル使用狀態カラ申シ
スレバ逆モ及バヌ、ソレガ爲ニ住宅
今ヤツト五六十戸、マア今年一杯デ二
百戸建ツカ建タヌカト云フ狀態デア
リ

マス、ソレカラ一方民間側ト申シマス
カ、市民ノ間ニ於テ、自由ニ建テ居
ル方デモ、勞務者ガ色々過度ノ要求ヲ
致シテ居リマス、具體的ニ申シマスレ
バ、晝ト晩ハ食事ヲ出セ、或ハ米一升
ニ四十圓トカ五十圓トカ、ソレデヤリ
得ル者ハ非常ニ宜イケレドモ、ヤリ得
ナイ者ガ澤山出テ來マス、殊ニ最近ノ食
糧事情ニ於テハ、米ヲ要求サレルノデ
備ヒタクトモ儲ヘナイ、ソレカラ棟上
大工ト云フモノガ流行ツテ居リマシ
テ、是ハ棟上デテシマフト他所ニ行
ツテシマフ、ソレデカラ市内ニ於テ屋
根ハ葺クバカリナツテ居ルガ、手ノ著
カナイ家ガ多數出來テ居ル、所謂棟上
大工ノ流行デス、棟上迄ハ一生懸命ヤ
ルガ、ソレカラハ又他所ニ移ツテ仕事
ヲヤルト云フノデ市民ガ非常ニ困リ拔
イテ居リマス、ソレデ今關係資料ヲ戴
キマシタガ、之ヲ見マス、勞務手帳
ノ戰時中果シタル效果トシテ、從業員
ノ恣意ノ移動防止、使用者ノ側ニ於ケ
ル從業員ノ引拔防止、第三ニ移動及引
拔ニ伴フ賃金昂騰ノ抑制、第四ニ勞務
需給ノ調整トカ、非常ニ立派ナコトガ
擧ゲテアリマス、斯ウ云フ立派ナ效果ヲ
十分ニ擧ゲテ居ルハ思ヒマセヌケレ
ドモ、假ニ斯ウ云フ效果ガ、勞務手帳
ガアル現在ニ於テスラ斯ウ云フ狀況ナ
ノニ、之ヲ無クシテシマシタル果シテ
我々市民ノ熱望シテ居ル住宅ガ所期通
リ建設シ得ラレルヤ否ヤ、誠ニ寒心ニ
堪ヘナイ、之ニ付テハ色々譯モアリマ
セウ、食糧事情バカリデナク、敗戦ニ
因リ國民ノ國家觀念トカ或ハ道義ノ減
退、色々アリマセウガ、兎ニ角此ノ戰
災復興ノ急場ヲ凌グ爲ニ斯ウ云フモノ
ヲ外シタ後、何カモツト強イ手ヲ打
チニナラナイト、住宅ノ建築ハ思フヤ

ウニ行キマセヌ、殊ニ先程御話ガアリ
マシタヤウニ、三十萬戸ノ簡易住宅建
設ニ於テモ、恐ラク政府ノ所期スル所
ノモノハ私ハ建タナイト思フ、ドウシ
テモ建タナケレバ今政府デ仰シヤイマ
シタ從業命令ノヤウナモノヲ發スル御
決意デアリマスカドウカ、之ヲ承リタ
イ
○政府委員(矢野庄太郎君) 只今渡邊
サンカラ復メニ付テ、實際ニ於テ色々
取扱ハレマシタ實例ヲ示シ、御高見ヲ
拜聽致シマシタ、私モ餘リ戰災地ハ歩
イテ居リマセヌ、此ノ間松山ト徳島ニ
參リマシタガ、松山、徳島、何レモ今
御話ノヤウニ坪四百圓又ハ五百圓ノ復
興住宅ヲ建築スル豫定ヲ樹テテ居リマ
ス、松山ハ材木ノ生産地デアリマシテ、
非常ニ澤山出來マス、阪神地方ハ相當
量供給スル約東モ知事ノ方デヤツテ居
ルヤウデアリマスガ、材木ガ非常ニ多
イ、松山市ハ相當ニ出來テ居リマシタ
ガ、徳島ノ方ハ一向ニ少シテ居リマセ
ヌ、ソレニ付テ開キマシタ處ガ、マダ
市區改正ノ計畫ガ出來上ツテ居ラスノ
デ、其ノ點モ復興建築ノ起ラナイ原因
ノ一ツダト申シテ居リマス、ソレハサ
ウカモ知レマセヌ、東京ハ今渡邊サン
ノ申サレタヤウニ坪千五百圓ハ實ニ粗
末ナ「バラック」デアリマス、私モ今朝
人ト一緒ニ中央線ノ電車デ通ツタノデ
ゴザイマスガ、其ノ時ニ、其ノ私ノ知
リ合ノ人ガ建築ノ方面ニ詳シイ人デア
リマシタ、實際ニ出來テ居ル家ヲ指シテ、
マダ、アレデ六千圓ハ掛ルノダト申シ
マシタ、ソレガ五坪乃至六坪デゴザイ
マス、アレデ六千圓ハ掛ルノダト云ハ
レマシテ、坪千五百圓ト云フモノヲ
聞イテ居リマシタケレドモ、實際ノモ
ノヲ見テ驚キマシタ、渡邊サンノ言ハレ

タ通りニ勞務者ハ出テ居リマセヌ、勞
務協會ハ厚生省ノ所管ニナツテ居リマ
スガ、勞務ハ本當ニ出マセヌノデゴザ
イマス、ソレニハ色々原因ガアルト思
ヒマスガ、食糧關係又先刻野村サンノ
御質問ニ對シテ私ガ申上ゲマシタヤウ
ニ、勞働意欲ノ昂揚ト云フコトガ全然
起ツテ居ラスノデ、サウ云フ點モ影響
シテ居ルデアラウト思ヒマス、御説ノ
ヤウニ此ノ難デ置イタナラバ、復興建
築ハ容易ナコトデナイト思ヒマス、處
デ強制的ニ勞務ヲ出スト云フ考ガアル
カナイカト云フ御質問デゴザイマス
ガ、是ハ事頗ル重大デゴザイマスノデ、
此ノ席ニ於テ私個人ノ意見ヲ申上ゲマ
シテモ何ノ用モ爲シマセヌノデ、十分
ニ一ツ大臣ノ御質問ノコトヲ傳ヘマシ
テ、サウシテ他ノ機會ニ於テ御答ヲ申
上ゲタイト思ヒマス
○渡邊覺造君 誠ニ有難クゴザイマシ
タ、戰災者ニ取ツテ見マスレバ、住宅
ノ建タヌト建ツト云フコトハ非常ニ思
想上ニモ影響致スト存ジマス、是非早
急ニ或何カノ對策ヲ講ジマシテ、早急
ニ建ツヤウナ方法ヲ是非御考ヘ願ヒタ
イ、ソレニハ先程申シマシタ通り資材
モ強力ニ出スト同時ニ、勞務モ是非是
ハ強力ニ出ルヤウナ方法ヲ考慮シテ戴
キヤウ、重ネテ御願ヒ致シマス
○政府委員(矢野庄太郎君) 十分承リ
マシテ、大臣ノ方ヘ傳ヘマス
○侯爵佐竹義典君 此ノ席デチヨツト
伺ツテ宜イカドウカ分リマセヌガ、
厚生當局ノ將來ノ御方針ニ付テチヨツ
ト承リタイト思ヒマス、先程野村子爵
カラモチヨツト御發言ガゴザイマシタ
ヤウニ、厚生省ノ將來ノ大ナル仕事ノ
一ツト致シマシテ、社會保險制度ノ整
備擴張強化ト云フコトガ考ヘラレテ居

リマス、殊ニ恩給法ノ廢止セラレタ後
ニ於キマシテハ、只今ゴザイマス勞働
者年金保險制度ノ整備強化トカ云フヤ
ウナコトモ考ヘラレト思ヒマス、就
キマシテハ、社會保險制度ニ對シマス
ル厚生當局ノ將來ノ御考ヲ、御意支ナ
イ範圍ニ於キマシテ、チヨツト承レレ
バ幸ヒデアルト存ジマス
○政府委員(矢野庄太郎君) 佐竹侯爵
ニ御答ヘ申上ゲマス、御承知ノ通りニ、
軍人恩給ノ停止問題、ソレニ關聯シテ
一般文官ノ恩給制度ノ改革等ニ絡ミマ
シテ、只今社會保險ト云フコトハ厚生
省ノ最モ重大視シテ居ル問題ノ一ツデ
ゴザイマス、近ク民間ノ有識者等ニ御
願ヲ致シマシテ、委員會ヲ作リマシテ、
早急ニ案ヲ作りタイ、斯様ニ考ヘマシ
テ、目下折角努力中デゴザイマス
○松本泉君 渡邊サンノ御尋ニ關聯シ
テチヨツト伺ヒタイト思ヒマス、勞務
手帳ノ今度廢止サレルコトニナリマシ
テ、此ノ勞務手帳ガ今日迄ノ勞務ノ確
保ノ上ニ相當貢獻シタト云フコトノ參
考ノ資料ヲ貢獻致シマシタガ、ドノ程
度ノ貢獻ガアツタカト云フコトハ、必
ズシモ私モサウ重ク見ル一人デナイノ
デアリマスケレドモ、併シ兎ニ角勞務
手帳ト云フモノガアツタ爲ニ、貢獻シ
タ參考書ニアルヤウナ結果ガ出テ居
タノダラウト思ヒマス、然ルニ之ヲ全
然廢止シテシマシタ後ニ、勞務ノ確保
ト云フヤウナコトニ付テ、此ノ梓ヲ外
セバ、今後色々問題ガ起ツテ來ルノデ
ヤナイカ、殆ド是ガ出來ナイノデヤナ
イカ、殊ニ今日ニ於テハ食糧ノ増配ノ
問題トカ、或ハ退職金等ヲ賈シテ居
マス關係上、一時勞働意欲ガ減退シテ
居ルト云フヤウナコトモアリマセウ
ガ、併シ何カノ手ヲ打タナイト、勞働

力ノ確保ト云フコトハムジカシイノデ
ヤナイカト思フノデアリマス、強權ヲ
發動シテ又徵用ヲスルト云フヤウナ策
モアラウト思フノデアリマスガ、ドウ
モ今日迄ノ徵用ノ制度ニシテモ、必ズ
シモ長ク行ツテ居ルカウタノデアリマ
ス、今後ニ於テ、或ハ強權ヲ發動シテ
徵用サレルニシテモ、昨日迄ノ異服屋
ノ番頭ヲシテ居ツタヤウナ人ヲ炭坑
ニ持ツテ行ツテ見タ處デ、殆ド能率ハ
上ラナイ、サウ云フヤウナ譯デアリマ
スカラ、強權ニ依ツテ唯徵用シタカラ
ト云ツテ、數字ノ上デハ、炭坑ナラ炭
坑ノ勞務者ノ數ガドレダケニナツタト
ハ言ツテモ、實際ノ效率カラ言フナ
ラバ非常ニ少イモノデヤナイカ、唯數
字ノ上トカ形式のニダケ勞務ガ確保サ
レタヤウナ形ガ出來ルダケデ、實際ノ
力ト云フモノハ、殆ド期待出來ナイノ
デヤナカラウカト思フノデアリマス、
何カ良イ方法ハナイモノデアリマセウ
カ、今日迄既ニヤリ盡シタ強權發動ト
カ徵用トカト云フコトダケハナク、
モツト良イ方法ヲ御考ニナツテ居ナイ
モノデセウカ、或ハ勞務手帳ニ付テ、
特殊ノ勞働ダケニ付テハ未ダ之ヲ殘シ
テ置カウトカ、又例ヘバ炭坑夫ナラ炭
坑夫ガ戰爭ノ爲ニ應召シテ兵役ニ服シ
タ、從來所謂玄人デアアル炭坑夫……
申ス迄モナク炭坑夫ハ熟練職工トハ言
ヘナイニシテモ、相當ナ熟練技術ヲ要
スルノデアリマシテ、素人ガ唯山ヘ入
ツタカラト云ツテ、石炭ガ十分掘レル
モノデハナイ、相當玄人デ戰爭ノ爲ニ
其ノ山カラ離レテ居ル者ガ澤山アル、
ソレデ石炭ノ出發率モ戰爭中非常ニ少
カッタ、デアリマスカラ、戰爭前ニ働
イテ居ツタ炭坑夫ガ、戰爭ノ爲ニ一體
ドレダケ其ノ山ヲ離レテ居ツタカ、又

今日ドレダケソレガ歸ツテ來タカ、是
ハ一例デアリマスケレドモ、サウ云フ
風ニ仕事ノ種類ニ依ツテ、今日一番大
事ナ勞務ヲ要スル仕事ヲ選リ出サレ
テ、今一番大事ナノハ炭坑夫デゴザイ
マセウ、ソレカラ今渡邊サンカラ御話
ガ出タ大工トカ左官トカ云フヤウナ、
サウ云フ急場ヲ要スル建築ニ必要ナル
勞務デアリマセウ、サウ云フ特殊ノモ
ノヲ選リ出サレテ、ソレニ玄人ヲ一ツ
探シ出サレテソレニ特ニ勞務手帳ヲ與
ヘルナリ、或ハ非常ニ優遇ヲスルナリ
ナンカサレテ、専門家ヲ専門ノ所ヘ使
ツテ行クト云フヤウナヤリ方ヲ爲サレ
ルコトハ出來ナイモノカドウカ、私ハ
徵用ノ制度ニ非常ニ不滿ヲ持ツテ居
タ一人デアリマス、戰爭ノ時デアリマ
スノデ、權力ヲ以テ人ヲ引ツ張り出セ
バナンデモ出來ルヤウナ考ヘ方デア、
云フ施設ヲサレタト思フノデアリマス
ガ、決シテサウ云フ形ダケヲ整ヘタコ
トニ依ツテ勞働力ノ確保ハ出來ナイ、
只今申上ゲタコトハ、二ノ私ノ考ヘ
テ居ルコトヲ申上ゲテ、サウ云フ風ナ
御考ガアルカナイカ派ツテ見タイ
○政府委員(矢野庄太郎君) 松本サン
ニ御答申シマス、特殊ノ職業ヲ限ツテ
勞務手帳ノヤウナ制度ヲ殘シテ見タラ
ドウ云フモノデアラウカト云フ御尋デ
ゴザイマスガ、松本サンノ言ハレタヤ
ウニ、成ルベク權力ヲ用ヒナイデ必要
ナ勞務ヲ得タイトハ私共考ヘテ居リマ
ス、處ガナカノソレガ現在ノ狀態デ
バムジカシイノデアリマシテ困ツテ居
マス、先日國民登錄ト云フコトヲヤリ
マシタガ、ソレニ依ルトドウ云フ職業
ノ者ガ現在日本ニ何人居ルカト云フコ
トガ分ルコトニナツテ居リマス、二十
日過ギニハソレガ分リマス、サウ云フ

結果ヲ待ツテ何カ一ツ考ヘナケレバナ
ラヌ、極メテボシヤリシタ考デアリマ
スケレドモ、只今ノ所サウ云フコトヲ
考ヘテ居リマス、私モ強權ヲ用ヒタラ
必ズシモ松本サンノ言ハレルヤウナ良
イ結果ヲ得ルトハ考ヘテ居リマセウ
デ、成ルベク強權ヲ用ヒズシテ所期ノ
目的ヲ達ツシタイト考ヘテ居リマス、
大體十分分答辯デゴザイマスガ……
○松本學君 強權ヲ用ヒルト云フコト
ハ私ハ却テ悪い結果ガ起ルト考ヘル、
今日迄ノ經驗カラ見マシテモ良イ結果
ハ得ナイバカリデヤナクシテ、悪い結
果ヲ來シテ居ルノデナイカト思ヒマ
ス、參考ノ爲ニ局長ニ伺ツテ御知ラセ
テ願フト宜イノデスガ、炭坑ノ例ヲ採
リマシテ、斯ウ云フ風ニ戰爭ニ依ツテ、
所謂専門家デアアル炭坑夫ガドレダケ一
體離レタト云フ御調ガ出來テ居リ
マスガ、ソレカラ又復員ナリノ關係デ
以テドレダケガ歸ツテ來テ居リマス
カ、是ハ炭坑夫ダケノ例デアリマス
レドモ、サウ云フ風ニ職業別ニ依ツテ
ノ勞働力ノ移動ニ付テ、戰爭前、戰
争中、戰後、何カ御調ガ出來テ居レ
バ知ラセテ戴イタラドウカ、假令今十
三萬ノ炭坑夫ガ入用ダト云フ御話ガア
リマシタガ、其ノ中デ専門家ガ一體ド
レダケ復員シテ居ルノデアルカ、サウ
スルト云フト、優先的ニ其ノ専門家ヲ
權力ニ依ツテ引ツ張リ出スト云フコトデ
ナク、何カノ勞働意欲ヲ持タセルヤウ
ナ方法ヲ採ツテ、専門家ニ専門ノ仕事
ヲサセルト云フコトハ出來ハシナイカ
ト思ヒマス、サウ云フ御調ガアリマシ
タラ知ラセテ戴キタイノデアリマス、
ソレカラ私ハ將來ノ一體日本ノ工業ト
云フモノガドウ云フ形ニナツテ來ルカ
ト云フコトヲ政府トシテハ御研究ニナ

ツテ居ルコトダラウト思フノデアリマ
ス、從ツテ此ノ勞働問題ト云フモノモ
ソレニ關係シテ變ツテ來ルダラウ、實
質的ニ日本ノ工業ガ一體ドウ云フ風ナ
形デ以テ終戦後、數年數十年ノ間位ハ、
殊ニ聯合國トノ關係モアリマセウシ、
今日戰爭ニ依ツテ非常ナ打撃ヲ受ケテ
居ル狀態デアリマスカラ、經濟力ガ弱
クテ居ル此ノ日本國ニ於テドウ云フ形
態ヲ以テ日本工業ガ行クベキモノデア
ルカ、事實ドウナルカ、大體政府トシ
テ之ヲドウ云フ方面ニ持ツテ行クベキ
カト云フコトハ、工業國策トシテ御考
ニナツテ居ルダラウトモ思フシ、又御
考ニナラナケレバナラヌト思フ、サウ
スルト云フト私ハ此ノ勞働政策ト云フ
モノモ變ツテ來ルデヤナイカ、ソレハ
是ダケノ戰災ヲ受ケテ全然所謂工業……
農村ハ是ハマア完全ニ殘ツテ居リマス
ガ、工業ノアルト云フヤウナ都市ハ殆
ドヤラレテシマッタ、工場ノ戰爭ニ依
ル損害ト云フモノハ今私ハ數字ヲ存ジ
マセウガ、非常ニ大キナ損害ヲ受ケテ
居ル、是ガ再ビ所謂工場工業、マア英
語ヲ使ツテフカシイデスガ、「ワーク
ショップ・インダストリー」ト云フ形
デ出テ來ルト云フコトハナカノ、先
コトデハナイカ、今後ノ日本ノ工業ト
云フモノハ、國策トシテ或見透シヲ立
テテ工業政策、施策ト云フモノヲ立テ
ル上ニ於テハ、ドウシテモ所謂「ドメ
スティック・インダストリー」、家内工
業ト云フモノヲヤラナケレバナラヌデ
ヤナイカト私ハ斯ウ云フ風ニ思フ、サ
ウ云フ風ナ行キ方デ、家内工業カラ出
發シテ段々ト餘力ガ出來テ、經濟力ガ
充實スルニ從ツテ工場工業ト云フモノ
ニシテ、發展シテ行ク、家内工業ニ
於テ部分品ヲ作ツテ、小サイ工場トカ、

或ハ組立トカ、仕上ラスル、斯ウ云フ
ヤウナコトガ當分續クノデヤナカラ
ウカト云フ風ニモ思ハレルノデアリマ
スガ、サウ云フコトニ付テ何カ我ガ國
將來ノ工業國策トシテ政府ノ御考ガア
ツテ、ソレニ關係シテヤルナラバ商工
省ト厚生省トガ能ク連絡ヲ御取リニナ
シテ、將來ノ勞働政策ト云フモノヲ御
考ヘニナツテ居リマセウカドウデセウ
カ、之ヲ承ツテ見タイト思ヒマス
○政府委員(矢野庄太郎君) 松本サン
ノ御尋ハ非常ニ重大ナ問題デ、私カラ
御答辯申上ゲルコトハ適當デナイト思
ヒマスガ、松本サンノ言ハレルヤウニ、
日本ノ將來ノ工業ハ結局ハ手工業ニナ
ツテ來ル、十年ノ間カ二十年ノ間カ是
ハ分リマセウガ、手工業ト云フ形ニナ
ツテ來ルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ
居リマス、總理大臣モ手工業デヤツテ
行カナケレバナラヌト云フヤウナコト
ヲハ開ノ席上デ御述ニナツタヤウニ私
モ承知致シテ居ルノデアリマスガ、從
ヒマシテ厚生省トシテノ勞務對策、失
業對策ト云フモノハ、矢張り此ノ線ニ
副ウテ行カナケレバナラヌコトハ、勿
論デアリマス、差當リノ私ノ省ノ失業
對策トシテハ、先般新聞ニ於テ發表セ
ラレタヤウニ、農林省所管ノ開墾事業、
又内務省計畫ノ土木事業、斯ウ云フ方
面ニ失業者ヲ相當吸收サセルヤウニシ
タイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマ
ス、事大變大キナ問題デアリマシテ、
私カラ御満足ノ行カレルヤウナ答辯ハ
出來マセウ、ソレカラ炭坑労働者ノコ
トニ付テ御尋ガゴザイマシタガ、是ハ
後統計ヲ調べ得マシタナラバ御答ヲ
スルコトニ致シマス
○松本學君 只今ノ問題ニ付キマシテ
ハ、政府ニ於テモ色々御研究ニナツテ

居リマセウカラ、又他ノ何カノ機會ニ御尋シマス、又此ノ議場デナシニ御尋ニスル機會ガアラウト思ヒマス、ソレカラ只今數字ヲ御知ラセ願ヒタイト申シタノデ、是ハ希望ニナリマスガ、只今申上ゲマシタヤウナコトニ付テ十分ノ御考慮ヲ願ツテ置キタイト思ツテ居リマス、ソレカラ此ノ法案ニ付テテヨツト承リタイノデスガ、附則ノ第二項ニ「本法施行前ニ爲シタル行為ニ對スル罰則ノ適用ニ付テハ國民勞務手帳法ハ本法施行後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス」とアル、本法施行後即チ廢止後ニ於テ罰則ニ付テノコトハ效力ガアルト云フコトデアリマスガ、是ハ何カ期限デモ切ルノデアリマセウカ、何時迄此ノ效力ガ續クノデアリマスガ、或ハ刑罰ノ方ノ時効ニ依ルノデアリマスガ、ソコノ所ヲチヨツト……

○政府委員(佐伯敏男君) 一般ノ規定ニ依リマス、時効ニ依ルモノト致シマス

○委員(男爵山均君) 他ニ御發議ガナケレバ質疑ハ終ツタモノト考ヘマシテ討論ニ入りタイト存ジマス

○子爵野村益三君 先刻御話ニナリマシタ國民職業登錄デスガ、二十日迄ニ御出來ニナリマス、アレガ出來マシタ諸君ニ御交付ヲ願ヒタイ、ソレダケ御願ヒシテ置キマス

○松本學君 ソレカラ又數字ハ後デ戴キタイト思ヒマス

○委員長(男爵山均君) 只今政府委員カラ二、三ノ別ノ機會デ云フ御話ガザイマシタガ、是ハ又何レ何カノ機會ニ大臣ニ御出デテ願ヒマスガ、ドウゾ御意見ガザイマシタラ——別ニ御發言ガナケレバ入營者職業保障法及國民勞務手帳法廢止法律案ハ原案通り可決

スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵山均君) 御異議ナシト認メマス、休憩致シタイト存ジマス、午後一時カラ開會致シマス

午前十一時四十五分休憩

午後一時十四分開會

○委員(男爵山均君) 只今カラ午前引續キ委員會ヲ開會致シマス、法制局長官カラ國家總動員法及戰時緊急措置法廢止法律案ノ御説明ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(橋樑渡君) 提案ノ理由ヲ説明致シマス、委員會ニ付託セラレマシタ國家總動員法及戰時緊急措置法廢止法律案ニ付キ御説明致シマス、國家總動員法ハ昭和十三年四月法律第五十五號トシテ公布、同五月施行セラレタノデアリマスガ、其ノ第一條ニ於テ其ノ目的トシテ、戰時ニ際シ國防ノ達成ノ爲、國ノ全力ヲ最も有效ニ發揮セシムルヤウ人の及物の資源ヲ統制運用スルト掲ゲラレマシタ如ク、施行以來國防ノ達成ノ爲ニ各般ノ統制ノ基礎トシテ、戰爭中最も活用セラレタル、所謂戰時統制法令ノ根幹ヲ爲ス法律デアリ、又戰時緊急措置法ハ去ル第八十七議會ノ協賛ヲ經テ、昭和二十年六月法律第三十八號トシテ公布セラレ、戰時ノ最終的段階ニ於テ國家ノ危急ヲ克服セムガ爲ニ應機ノ措置ヲ請ジ得ル根據法トナリ、政府ニ對シ強力ナル非常措置ノ權限ヲ與ヘタモノデアリマス、終戰後ノ今日ニ於キマシテハ、戰時中ノ法令ハ何レモ能フ限リ速ニ整理改廢ヲ致スベキデアリマスガ、特ニ此ノ二法律ハ之ヲ至急整理スルヲ適當ト考ヘ、茲ニ兩法律廢止法律案ノ提案ヲ爲

シタ次第デアリマス、而シテ兩法律ヲ廢止スルコトニ依ツテ起ル混亂ヲ避ケル爲、附則ニ於テ必要ナル規定ヲ設ケタノデアリマス、以下各項ニ付其ノ大要ヲ御説明致シマス、本文ハ國家總動員法ト戰時緊急措置法ヲ廢止スル旨ヲ規定シタモノデアリマス、附則第一項ハ、本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ定ムルコトト致シタノデアリマスガ、施行ニ必要ナル手續等ヲ急速ニ進メ、能フ限リ速ニ施行致シタイト考ヘテ居リマス、附則第二項ノ前段ハ、兩法律ニ基キ現ニ存スル勅令ニ關スル限リ、是等ノ法律ニ依リ得ルコトヲ認メル爲、其ノ法の根據トシテ本法施行後六箇月間國家總動員法及戰時緊急措置法ノ效力ヲ認ムルコトト致シタノデアリマス、既ニ終戰以來國家總動員法ニ基キ勅令以下ノ命令ニ付キマシテハ、續々其ノ整理ヲ行フテ參リ、既ニ整理済ノ勅令、省令等ハ相當數ニ上ルノミナラズ、今後ト雖モ其ノ整理ヲ急イデ居ルノデアリマスガ、終戰後ノ各般ノ情勢ニ鑑ミマシテ、其ノ善後措置ヲ充分ニ講ズルコトナク、有テ無ル規則ヲ遵ニ撤去致シマス、即チ急激ナル社會不安、秩序崩壞ヲ招來スル虞ガアリマス、

○政府委員(鈴木幹雄君) 私共ノ關係致シマシタ範圍ニ於キマシテ映畫法ヲ廢止致シマス迄ノ經緯ヲ御説明申上ゲマシテ御了解ヲ得タイト思ヒマス、此ノ映畫ノ問題ガ具體的ニ起リマシタノハ、去ル十月四日ニ所謂政治的、公民的自由ノ制限除去云フ通牒ガ參リマシタ、ソレニ端ヲ發シテ居ルノデアリマス、實ハソレ以前ニ於キマシテ、私共ノ方ト致シマシテ、寄リノ映畫ノ業者或ハ映畫ノ關係團體ト云フヤウナ方面ト、斯ウ云フヤウナ統制團體ノ自治的改組ト云フヤウナ問題ニ關シマシテモ協議ヲ致シテ居リマシタ、今迄官廳ノ外郭團體トシテアリマシタノヲ、業者ノ自治的團體ニ直サウト云フヤウナ話デ進ンデ居タノデアリマス、其

シタ次第デアリマス、而シテ兩法律ヲ廢止スルコトニ依ツテ起ル混亂ヲ避ケル爲、附則ニ於テ必要ナル規定ヲ設ケタノデアリマス、以下各項ニ付其ノ大要ヲ御説明致シマス、本文ハ國家總動員法ト戰時緊急措置法ヲ廢止スル旨ヲ規定シタモノデアリマス、附則第一項ハ、本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ定ムルコトト致シタノデアリマスガ、施行ニ必要ナル手續等ヲ急速ニ進メ、能フ限リ速ニ施行致シタイト考ヘテ居リマス、附則第二項ノ前段ハ、兩法律ニ基キ現ニ存スル勅令ニ關スル限リ、是等ノ法律ニ依リ得ルコトヲ認メル爲、其ノ法の根據トシテ本法施行後六箇月間國家總動員法及戰時緊急措置法ノ效力ヲ認ムルコトト致シタノデアリマス、既ニ終戰以來國家總動員法ニ基キ勅令以下ノ命令ニ付キマシテハ、續々其ノ整理ヲ行フテ參リ、既ニ整理済ノ勅令、省令等ハ相當數ニ上ルノミナラズ、今後ト雖モ其ノ整理ヲ急イデ居ルノデアリマスガ、終戰後ノ各般ノ情勢ニ鑑ミマシテ、其ノ善後措置ヲ充分ニ講ズルコトナク、有テ無ル規則ヲ遵ニ撤去致シマス、即チ急激ナル社會不安、秩序崩壞ヲ招來スル虞ガアリマス、

○政府委員(鈴木幹雄君) 私共ノ關係致シマシタ範圍ニ於キマシテ映畫法ヲ廢止致シマス迄ノ經緯ヲ御説明申上ゲマシテ御了解ヲ得タイト思ヒマス、此ノ映畫ノ問題ガ具體的ニ起リマシタノハ、去ル十月四日ニ所謂政治的、公民的自由ノ制限除去云フ通牒ガ參リマシタ、ソレニ端ヲ發シテ居ルノデアリマス、實ハソレ以前ニ於キマシテ、私共ノ方ト致シマシテ、寄リノ映畫ノ業者或ハ映畫ノ關係團體ト云フヤウナ方面ト、斯ウ云フヤウナ統制團體ノ自治的改組ト云フヤウナ問題ニ關シマシテモ協議ヲ致シテ居リマシタ、今迄官廳ノ外郭團體トシテアリマシタノヲ、業者ノ自治的團體ニ直サウト云フヤウナ話デ進ンデ居タノデアリマス、其

國家總動員法ノ目的ヲ掲ゲタ同法第一條、ソレニ必要ナル總動員物資ト總動員業務ノ定義ヲ規定シタ同法第二條及第三條ハ、今回ニ於テ全ク意義無キ爲、是等ノ條項ハ之ヲ除外致スコトト致シタ次第デアリマス、附則第二項ノ後段ハ、右ノ如ク兩法ハ現存勅令適用ノ限度ニ於テ存續セシムル要アリトハ申セ、其ノ目途トスル所ハ戰爭ノ遂行デハナク、終戰後ノ事態ニ對應シテ、國民生活ノ維持及安定ヲ圖ル爲ニ之ヲ存續セシメムトスルモノデアリマシテ、ソレト必要ナル讀替ヘヲ爲シ、今後ノ效力存續上支障ナカラシメムトシタ次第デアリマス、附則第三項ハ、存續スル勅令ノ内容ニ關シ存續ヲ許サル、六箇月間ニ於テ、其ノ適用上必要ナル改正ヲ爲スコトヲ得ル旨ヲ定メタモノデアリマス、改正スル場合ニ於キマシテモ、其ノ規定スル事項ノ範圍内ニ於テト致シマシテ、國民ニ新ナル拘束ヲ加フルヤウナコトハ出來ヌ趣旨デアリマス、附則第四項ハ兩法律ノ廢止ニ依ツテ各勅令ニ規定セラレタ權利義務等ノ關係ニ混亂ヲ惹起セシメス爲、本法施行前兩法ニ基イテ行ハレマシタ命令、處分、行為ニ係ル措置ノ中其ノ法律關係ノ未ダ完了セザルモノデ今後モ從前ノ例ニ依リ措置スベキモノ及兩法ニ違反シテ行ハレマシタ行為ノ處罰ニ關シテハ何レモ本法施行後ト雖モ之ヲ處理シ得ルコトト致シタノデアリマス、而シテ現存勅令ガ本法廢止後六箇月間ノ經過中行ハレル各種事項ノ處理及違反行為ノ處罰ニ付テモ同様ニ行ヒ得ル如ク括弧内ノ規定ニ依ツテ其ノ旨ヲ明確ニ致シタ次第デアリマス、何卒宜シク御審議ノ上御可決アラムコトヲ切ニ希フ次第デアリマス

○委員(男爵山均君) 只今御説明ヲ承リマシタ法律案ハ關係ガ各省ニ互リマスノデ、各省カラ出マス見込ノ法案ト一緒ニ出來得ベクハ攝メテ審議シタイト考ヘテ居リマス、如何デゴザイマセウ

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵山均君) 御異議ナシト認メマス、只今文部大臣ノ御出席ヲ待チマシテ、映畫法ニ關シテ質疑ヲ致シタイト存ジマス、速記ヲ止メテ

〔速記中止〕

○委員長(男爵山均君) 速記ヲ始め

○子爵野村益三君 映畫法廢止ニ關スル審議ヲ始めルノデアリマスガ、其ノ初メニ當リマシテ、「マツカサ」司今部ヨリ通牒ヲ受ケラレタ其ノ大略ヲ承ツテ置クト我々モ非常ニ好都合ト考ヘマスガ、當局ニ於テ御差支ヘガナケレバ要領ダケ御示シテ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(鈴木幹雄君) 私共ノ關係致シマシタ範圍ニ於キマシテ映畫法ヲ廢止致シマス迄ノ經緯ヲ御説明申上ゲマシテ御了解ヲ得タイト思ヒマス、此ノ映畫ノ問題ガ具體的ニ起リマシタノハ、去ル十月四日ニ所謂政治的、公民的自由ノ制限除去云フ通牒ガ參リマシタ、ソレニ端ヲ發シテ居ルノデアリマス、實ハソレ以前ニ於キマシテ、私共ノ方ト致シマシテ、寄リノ映畫ノ業者或ハ映畫ノ關係團體ト云フヤウナ方面ト、斯ウ云フヤウナ統制團體ノ自治的改組ト云フヤウナ問題ニ關シマシテモ協議ヲ致シテ居リマシタ、今迄官廳ノ外郭團體トシテアリマシタノヲ、業者ノ自治的團體ニ直サウト云フヤウナ話デ進ンデ居タノデアリマス、其

○政府委員(鈴木幹雄君) 私共ノ關係致シマシタ範圍ニ於キマシテ映畫法ヲ廢止致シマス迄ノ經緯ヲ御説明申上ゲマシテ御了解ヲ得タイト思ヒマス、此ノ映畫ノ問題ガ具體的ニ起リマシタノハ、去ル十月四日ニ所謂政治的、公民的自由ノ制限除去云フ通牒ガ參リマシタ、ソレニ端ヲ發シテ居ルノデアリマス、實ハソレ以前ニ於キマシテ、私共ノ方ト致シマシテ、寄リノ映畫ノ業者或ハ映畫ノ關係團體ト云フヤウナ方面ト、斯ウ云フヤウナ統制團體ノ自治的改組ト云フヤウナ問題ニ關シマシテモ協議ヲ致シテ居リマシタ、今迄官廳ノ外郭團體トシテアリマシタノヲ、業者ノ自治的團體ニ直サウト云フヤウナ話デ進ンデ居タノデアリマス、其

○政府委員(鈴木幹雄君) 私共ノ關係致シマシタ範圍ニ於キマシテ映畫法ヲ廢止致シマス迄ノ經緯ヲ御説明申上ゲマシテ御了解ヲ得タイト思ヒマス、此ノ映畫ノ問題ガ具體的ニ起リマシタノハ、去ル十月四日ニ所謂政治的、公民的自由ノ制限除去云フ通牒ガ參リマシタ、ソレニ端ヲ發シテ居ルノデアリマス、實ハソレ以前ニ於キマシテ、私共ノ方ト致シマシテ、寄リノ映畫ノ業者或ハ映畫ノ關係團體ト云フヤウナ方面ト、斯ウ云フヤウナ統制團體ノ自治的改組ト云フヤウナ問題ニ關シマシテモ協議ヲ致シテ居リマシタ、今迄官廳ノ外郭團體トシテアリマシタノヲ、業者ノ自治的團體ニ直サウト云フヤウナ話デ進ンデ居タノデアリマス、其

○政府委員(鈴木幹雄君) 私共ノ關係致シマシタ範圍ニ於キマシテ映畫法ヲ廢止致シマス迄ノ經緯ヲ御説明申上ゲマシテ御了解ヲ得タイト思ヒマス、此ノ映畫ノ問題ガ具體的ニ起リマシタノハ、去ル十月四日ニ所謂政治的、公民的自由ノ制限除去云フ通牒ガ參リマシタ、ソレニ端ヲ發シテ居ルノデアリマス、實ハソレ以前ニ於キマシテ、私共ノ方ト致シマシテ、寄リノ映畫ノ業者或ハ映畫ノ關係團體ト云フヤウナ方面ト、斯ウ云フヤウナ統制團體ノ自治的改組ト云フヤウナ問題ニ關シマシテモ協議ヲ致シテ居リマシタ、今迄官廳ノ外郭團體トシテアリマシタノヲ、業者ノ自治的團體ニ直サウト云フヤウナ話デ進ンデ居タノデアリマス、其

ノ時ニ色々諸カ業者ノ間カラモ出マシテ、「マツカリー」司令部ノ方ニ於キマシテ、映畫ト云フモノハ非常ニ民主主義國ニ於テノ非常ニ重大文化機關ナルト云フヤウナ見地カラ重大ナ關心ヲ拂ツテ居ルノデアリマス、今後ニ於テモ相當ノ變革ガ豫想ケレルノデハナカラウカト云フヤウナ見地ヲ持ツテ居タノデアリマス、十月四日ニ只今申上デマシタヤウナ聲書ヲ戴キマシタガ、其ノ中ニハ新聞ト云フモノハ映畫ニ關スル所ノ檢閲ヲ廢止セヨト云フヤウナ一項ガアリマス、之ニ關スル所ノ事務モ直チニ廢止スルヤウニセヨ、斯ウ云フヤウニ來タノデアリマス、從ヒマシテ私共ノ方ト致シマシテハ、從來映畫法ニ於テキマシテヤウナ居リマシタ映畫ノ檢閲並ニ與行ノ一切ノ檢閲ヲ廢止致シマシテ、又之ニ關聯ヲ持ツテ居リマスル事務モ停止スル、同時ニ地方廳ノ方面ニモ與行ノ檢閲ニ關スル事務ヲ停止スルヤウニト云フヤウナ通牒ヲ發シタノデアリマス、ソレガ檢閲ノ廢止ノ問題ガ起リマシタノデアリマスガ、ソレニ次ギマシテ、更ニ暫ク經テマシテカラ映畫法並ニ其ノ附屬法令ヲ撤廢セヨト云フヤウナ聲書ヲ戴キマシタ、茲ニ御審議ヲ煩ハシテ居リマスル映畫法ノ廢止モ此ノ聲書ニ依リマシテ致スト、斯ウ云フヤウナ段取りニナツタノデアリマス、此ノ問題ニ關シマシテハ、私實ハ聯合軍最高司令部ノ方ト兩三度ニ互リマシテ話ヲ其ノ方面ノ擔當者ト致シタノデアリマス、色々ト話ヲ致シテ居リマスル中ニ私ノ理解シテ居リマスル範圍ニ於テキマシテハ、映畫ニ關シマシテノ檢閲、製作ノ指導、斯ウ云フヤウナ方面ハ現在ノ所、全部聯合國最高司令部ノ方ニ於テ之ヲ擔當ス

ルト云フヤウナ體制ヲ整ヘテ居ルヤウニ見受ケラレルノデアリマス、之ニ關シマシテ日本政府ハ直接ニヤルト云フ分野ハ現在ノ所ハナイヤウニ考ヘテ居リマス、殊ニ警察ノ方面ハ、非常ニ此ノ文化事業ニ對シテ從來取締ノ觀點カラ關與致シテ居リマス點ヲ、民主主義ノデナイト云フヤウナ理由カラ極端ニ排撃ヲ受ケテ居リマシテ、警察ガ斯ウ云フ方面ニ「タッチ」スルノハ民主主義ノデナイト、斯ウ云フヤウナ結論ヲサレマシテ、私共ノ方ト致シマシテハ映畫並ニ與行ニ關シマシテハ、其ノ保健衛生ノ立場カラ、或ハ安全保障ノ立場カラ、各種ノ方面カラ警察ガ手ヲ引ケト云フヤウナ交渉ヲ受ケテ居ルヤウナ次第デゾイマス、昨日モ提案ノ理由ノ説明ノ中ニアリマシタヤウニ、是等ノ問題ニ關シマシテハ厚生省其ノ他關係各省ノ方面ニ目下協議ヲ願フテ居リマシテ、サウシテ私共ト致シマシテハ、現在内務省令一本規定ヲ致シテ居リマス與行等取締規則モ新シイ立場カラ致シマスル所ノ規則ヲ制定致シマシテ、ソレデ以テ今後律シテ行ク、斯様ニ取計ヒタイト云フヤウニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、大體私ノ關係致シテ居リマス經過ハ以上申上ゲタヤウナ次第デアリマス

○子爵野村益三君 聲書ノ内容ノ大略ヲ御紹介願ヘマセウカ

○政府委員(鈴木幹雄君) 先程十月四日ニ檢閲ノ停止ノ問題ガ出テ來タコトヲ申上ゲマシタガ、ソレニ應ジマス、九月二十七日ニモウ一ツノ指令ガ參ッテ居リマシテ、是非非常ニ抽象的デアリマスガ、今後ハ映畫ナンカニ付キマシテ、有ラニル形式ノ言葉ニ對スル檢

閱ハ最高司令官ガ特ニ承認シタ場合ニ限ッテ出來ルノダト云フコトヲ言ッテ來マシテ、一種強ニ於テ何ト申シマスカ、制限ヲモテラレタト云フヤウナコトニナツテ居リマス、此ノ時ニハマダハツキリト映畫ハ新聞、無線電話、電信、郵便ト云フヤウナ事項ガ相當出テ居リマシテ、特ニ映畫ト云フ問題ガ大キク「クローゼット」サレテ居リナカツタノデアリマスガ、九月二十日ニ特ニ司令官ガ承認シタ場合ノ外ハ制限ヲシテハイカスト云フヤウナ通牒ヲ來テ居リマス、越テ十月四日ニ先程申上ゲマシタ政治的、公民的、宗教的自由ニ對スル制限點ノ件ト云フノ依リマシテ、此ノ映畫ノ檢閲ハ效力ヲ停止スル、斯ウ云フヤウナ命令ニナツテ參ッタノデアリマス、ソレヲ越エテ今日ニハ先程令文ヲ則致シタノデアリマスガ、映畫法並ニ其ノ附屬法令、中ニハ警察廳ノ出シテ居リマシタ警察命令ニ類スルモノモアリマスガ、是等ニ付キマシテハ廢止ノ方途ヲ講ズルヤウニト云フヤウナコトニナツテ參ッタノデアリマス、内容ト申シマスルト大體以上ノヤウナコトニ考ヘテ居リマスガ、マダ御疑問ノ點ガゴザイマセウカ

○子爵野村益三君 大體今迄ノ經過ハ了致シマシタ、是カラ私ノ質疑ニ入リマス、只今御紹介ニナツタ成行ヲ考ヘテ見マス、結局此ノ映畫法ト云フモノハ所謂民主主義或ハ自發的ニト云フヤウナ點ニ於テドウモツクハナイト云フ所カラ話ガ進シタコトト了解シマシタ、映畫法ハ御承知ノ通り昭和十四年ノ三月二十三日ニ本院ノ特別委員會ヲ通過シ、ソレカラ同ジク十四年ニ法律第六十六號ヲ以テ發令サレタモノデアリマス、ソレニ約七年ノ年月ヲ經テ居リ、其ノ間ニ我々ノ國民思想、或ハ社會ノ進展ニ寄與シタルコトモ是少クナイト、思フノデアリマス、但シ我々が映畫法ヲ承認シタ時ニモ、贊成演説ノ中ニモアル、實際ノ見マスト云フテ、映畫法二十六箇條ノ中ニ、或ハ制限ト云フ文字ヲ使ヒ、許可ト云フ文字ヲ使ヒ、斯ウ云フ風ニ條項ガ十箇條モアル、現ニ特別委員會ニ此ノ話ガ出テ、或委員ハ斯ウ云フコトヲ言ッテ居リマス、是非如何ニモ此ノ法律ハ滑稽デアリマシテ、唯取締ヲ制スル流レテ居ッテ、溫カキ手ヲ以テ之ヲ養成シ育成シテ行クト云フ點ニハ、私ハ遺憾ナ點ガ多イト存ジマスト言ハレテ居リマス、其ノ通りデアリマス、之ヲ一見シマス、併シ又良イ點モ澤山アル、此ノ良イ點ト申シマス、第一條ノ目ノ達スル爲メノ色々ノ條項アル、第一條ハ御承知ノ通り、本法ハ國民文化ノ進展ニ資スル爲メ映畫ノ質ノ向上ヲ促シ、映畫事業ノ健全ナル發展ヲ圖ルヲ目的トス、此ノ目的ニ付テハ誰シモ依存ガナイ、「アメリカ」ノ人達モ之ニ付テハ寸毫モ異議ハナイ、斯ウ云フ事業ヲヤラナクテハナラナイ譯ナンデアリマ

ス、結局映畫ト云フモノノ重大性ヲ、彼モ認メ我モ認メルト云フ點ハ是ハ同ジデスケレドモ、其ノ見方トカ或ハ本法ニ對スル所管ヲ異ニスルカラ、謂ハバ我々共カラ言ヘバ、何ダカ玉石混濁ノ處置ヲ行ハレタヤウニ思ハレバ、無論本法ト云フモノハ改正シナケレバいかスト云フコトモ我々ハ叫ンデ居ル、現ニ斯ウ云フコトヲ一委員會ガ言ッテ居リマス、此ノ法律ヲ行ヒマシテ、段々ト經驗ガ積ムニ從ヒマシテ、次回ニハ此ノ問題ヲ相當御訂正ニナツテ、サウシテ更ニ又根本的ノ解決ヲ遊バシテ改正案ヲ御出シニナルト云フコトモ御願ヒシタイト存ジマス、是非改正シナケレバいかスト云フコトヲ知ッテ居ルケレドモ、之ヲ一朝ニシテ止メテシマツテ、倍テ後ガドウナルカト云フ問題、ソレハ今申シタヤウニ彼モ我モ映畫ノ重大性ハ認メテ居ルト云フコトハ、是ハモウ共通ノ事實ナンデアリマ

ス、カルガ故ニ、我々モ相當ナ時ニ相當改正ヲシテ、サウシテ本法ノ目的ヲ達成スルヤウニシタイト云フコトハ豫期シテ居ル、ソレドウトウデセウカ、是ハ文部並ニ内務當局ノ御所見ヲ承リタイノデアリマスガ、何レ之ヲ廢シタ後ニハ、善後策ト云フモノヲ考ヘラレル譯ナンデアリマセウケレドモ、ソレニ先立ツテ御審議ニシタイガ、一體此ノ檢閲ヲ廢シテシマツテ宜シイノデセウカ、第二ハ輸入「フィルム」ノ選擇デアリマス、之ヲ無制限ニ止メテシマツテ宜イモノデアルカ、我々ハ皆輪入「フィルム」ニ對シテ嫌ラナクテ大イニ其ノ非ヲ叫ンダコトモアル、之ヲ無差別ニ輸入スルト云フト飛ンダコトニナル、ソレコソ映畫ノ重大性ト云フハ、良イ意味ノ重大性デアリマセウガ、威力デアリマス、ソレガ思ハヌ所ニ行ッテシマフト云フコトモ考ヘル、ダカラ輸入ト云フコトニ付テモ、無差別ノ輸入ト云フヤウナコトハ是ハイケナイノデ、能クソコノ取捨選擇ハ、我が國ノ文化ニ貢獻スル、將來ノ進運ニ有利ナモノヲ選ンデ行クト云フコトヲナサラナケレバいかヌ、是ハ文部當局モ十分ニ御考ニナラナケレバいかヌト思ヒマス、ソレカラ成ルカ良イ「フィルム」ヲ擇ヘナケレバいかヌ、是ハ

「アメリカ」ノ映画ノ文化映畫ノ中ニ、三十幾ツカノ良イモノガアルト云フ御話アリマスガ、ソレハイツ何時デモ御利用ヲサレタイト云フ話モアツタ、サウ云フハ結構デアル、併シ話ガ横ニナリマスケレドモ、食糧ノ三百萬「トン」ガ輸入サレテモコツチデ以テ出來ルダケノコトヲヤラナケレバナラヌ、ソレニ安心シテ苟モ努力ト云フモノガ不足ノヤウナコトニナルト、又飛ンダコトニナル、ソレハ「マツカ」サ「司令部」デモ言ツテ居ル、我々モサウ考ヘテ居ル、ソレデ外國ノ「フィルム」ガ輸入サレタコトニ關シテ、日本デモソレニ敗ケナイヤウナ良「フィルム」ヲ拵ヘルト云フ覺悟デ、實績ガ事ヲナケレバハ無意味ダと思フ、却ツテ其ノ成績ト云フモノハ思ハヌ所ニ走ツテシマフ、ダカラ良「フィルム」ノ作成ト云フコトニ付十分ニ選奨サレナケレバナライ、サウ云フ選奨ト云フコトモ、此ノ廢止ニ因ツテ形デハナクナツテシマフ、又良イ「フィルム」ヲ成ルベク上映サセルト云フコトモハヤラナケレバナライ、今迄ハ上映ニ對スル命令ガアルマシタケレドモ、是モドウ一體ナサレカ、文化映畫等ト云フモノモ、是ハ今御話シタヤウニ十分普及サセナケレバナライモノモ矢張り相當アル、是ハ今ノ程度デ何カ一ツ上映スルヤウナ規定ヲ設ケナイト、或ハ妙ナ劇映畫ガズツト是カラ入ラナケレバナライト思フ、而シテ劇映畫ノ惡影響ト云フモノハ、是ハ著シイ話デ、是モ動トモスル飛ンダコトニナル、其處デ此ノ良「フィルム」ノ上映ト云フコトニ付テノ規定ト云フモノヲ考ヘナケレバナライ、是等ハ私ハ良イ施設ダと思フ、映畫法ニ規定シテア

ル……一體其ノ所謂俳優、技術者ト言ヒマスガ、サウ云フ者ヲ一體ドウ御覽ニナルカ、アノ程度ノ程度デ宜イモノカ、私等ハドウモ遺憾ニ思フ、矢張り映畫法ニ依ルヤウニ之ヲ救済シテ行ツテ十分ノ善用シナケレバイカヌト思フノデスガ、ソレニハ學校ノコトモアルシ、取締モアル、ソノナコトハ是カラドウナサレカ、ソレカラハ甚ダドウカト思ヒマスガ、露骨ニ言ヒマス、今デハ少シハ良クナツタノデアリマスガ、此ノ映畫業者ト云フモノハ實際困リ者デ、或ル時代ニハ警視總監モ尻尾ヲ卷イタヤウナ時代ガアツタ、ナカナカムツカシイ、是ガ勝手ナコトヲ言ツテ勝手ナ行動ヲヤツテハ、日本ノ映畫ト云フモノハ我々ノ考ヘルヤウナ發達ハ遂ゲラレナイト私ハ思フ、之ニ對スル何カ對策ト云フヤウナモノガナケレバナラス、ソレモ先刻御話シタヤウニ徹頭徹尾制限、取締デハイカヌ、或委員ノ言ツタヤウナ温キ手ヲ以テ之ヲ養成シ育成シテ行ク、斯ウ云フ方法デナケレバイカヌ、サウ云フ設備ハ一體ドウナサレカ、サウ云フ設備ハ一體要性並ニ是カラ普及獎勵サレナケレバナラヌト云フ立場カラ考ヘテコ、等ニ付テ甚ダ心配ガアル、サウ云フコトト、モウ少シ積極的ニ言ヒマス、一體映畫ノ普及ト云フコトハドウナルカ、ドウ云フ方法ニ依ツテ普及サレカ、最モ良イ映畫ノ普及ト云フモノヲドウ云フ方法デスルカ、是ガ甚ダ覺ツカナイ、ソレカラ私ガ何時モ言フノデスガ、常設館ト云フモノノ中ノ狀態ト云フモノハ實ニ危險デモアルシ心配デアル、大臣モ近頃常設館ニ行カレタカドウカ知リマセヌガ、私ハ歷代ノ大臣ニ御勸メシテ居ルノデアリマスガ、常

設館ヲ能ク御覽下サイ、ア、言フコトデハ、最近デハ迎モ安心シテ映畫ヲ樂シムト云フ氣ニモナレナケレバ、實際ナレナイ、觀客ハ無制限ニ入リマス、空氣ハ悪いシ、不衛生的デアルシ、甚ダ弊害ナシ、ソレデ私ハ言フノデス、是ハ警察制度ノ行ハレル前デシタケレドモ、其ノ前ニ各興行ノ方面ニデモ所謂警察制度ヲ行ヘト云フコトヲ私ハ提言シタノデス、ア、言フ所ニデモ當局者ガ時々行ツテ見レバ分ル、ドウ云フコトデサウ云フコトヲ見出ス役目ヲシテ居ルカト云フト、劍ヲ下テ居ル巡査ノ職檢デス、是ハ「マツカ」サ「司令部」ノ人ガ見テヲカシイト思フノモ無理ハナイ、彼等ハ何モ知ラナイ、斯ウ云フ所ハドウシタナラバ宜カラウトカ、或ハ斯ウ云フ風ニ改善シタラ宜カラウト云フ柄デハナイ、ダカラ映畫ニ關スル方ガ時々行ツテサウシテ常設館ノ狀態ヲ見ラレタラ大變宜カラウト云フコトヲ提案シタノデスガ、御忙ガシイカラデセウ、況ヤ内閣ガ迭ツテ局長ナリ、次官ナリ、大臣ナリガ映畫ヲ觀イテ見ルト云フコトハ殆ドナイ譯ダ、ダカラア、云フ中ノ狀態ト云フモノハ依然トシテ混沌タルモノデ、我々ガ本當ニ映畫ニ親シミ、即チ言葉ヲ換ヘテ言フト映畫ノ效力ヲ十分徹底セシメルト云フコトニ甚ダ不足デアル、ソレカラマア假ニデス、之ガ廢止サレテ、經シ之ニ代ル代案ガ出來テモ斯ウ云フコトハ必要ダと思フノデス、文部省ニ於テ教育映畫ト云フモノヲモットヤラナケレバイカヌ、今ハ名ベカリテ兎ニ角國民學校デモ一千數百萬ノ子供ヲ抱ヘテ居ラレル今日デアル、學校教育即チ教育映畫ニ力ヲ盡サナケレバイカナイノニ、ドウモ其ノ局長ガ迭ツテシマフ

トモウ映畫ト云フモノハ何處カニ飛ンデシマフ、課長等ト云フモノハ酷イ、數箇月デ迭ツテシマフ、或局長ハ映畫ニ非常ニ熱中シテ何ダカ妙ナコトヲ考ヘル、或局長ハ方針ガ違フ、ソノナコトデスカラ文部省ノ教育映畫ハ振ハナイト云フコトハ是ハ無理ハナイ、ドウシテモ教育映畫ト云フモノハ文部省デナケレバ出來ナイ、商賈人ニ任シテハ到底目的ヲ達セラレナイ、其ノ本家本元ノ文部省ガ一方ニ於テ映畫ト云フモノハ重要ダト云フコトヲ始終言ハレテ認メテ居ルニ拘ハラズ、教育映畫ニ對シテハ頗ル冷淡、冷淡ト云フカ力ガ足リナイノデセウカ、マア金ノコトヲ言フト此ノ際ドウカ知リマセヌガ、私共ハ或ハ百萬圓位出シテ宜イデヤナイカト云フコトヲ言ツタコトモアル、文部省デハ教育映畫ニドレダケ經費ヲ使ツテ居ラレマスガ、段々少クナツテ二十餘萬圓ト云フノガ、今ハ六、七萬圓デセウ、ソレデ教育映畫ハ出來ルモノデヤナイ、モウ一ツハコンナコトニナリマス、殊ニ映畫ニ關スル協會ト云フモノヲ働カセナケレバイカナイ、一方ニ於テ業者ト云フモノハ只今申上ゲタ通り檢閲モナクナル、ソレヲ巧ク按排シテ治メテ行クニハ矢張り之ニ關スル協會ト云フモノヲ働カセナケレバナラス、我々ガヤカマシク言ツテ大日本映畫協會ガ出來マシタ、是デ御承知ノ通り俳優ナド養成シヨウト云フ譯デアリマス、一方ニ於テハ大日本映畫教育會、之ガ出來テ、是ハ文部大臣ヲ會長ニ戴イテサウシテヤツテ居ル、處ガ何處カラカノ横柄デ、ドウモ是ハ民主的デナイト云フノデ、會則ヲ改正シテ文部大臣ヲ會長トスルト云フヤウナコトハ民主的デナイ、ソレハ削ル、削ルノ

モ宜イデセウト云フ風ナコトデ、片方ノ大日本映畫協會モ混沌トシテ振ハナイ、文部大臣ヲ規則トシテ會長ニ戴カウトシテ十分教育映畫ニ盡精シヨウト思ツタ其ノ映畫教育會モ何ンダカ今度自滅スルノデナイカト云フ風ナ譯デ、是デハ一體映畫ノ前途ハドウナルカ、重要デアル、其ノ重要性ヲ活カシテ、我ガ國民ノ文化、世界ノ平和ニ貢獻シヨウト云フ重大使命ヲ持ツテ居ル所ノ映畫ガ一體ソノナモノデ宜イノカ、ソコデ私ハ伺ヒタイノハ、是ハ廢止ニナル、映畫法ノ第一條ノ目的趣旨ハ變ラナイ、國民文化ノ進展ニ資スル爲、映畫ノ質的向上ヲ促シ、映畫事業ノ健全ナル發達ヲ圖ルト云フ此ノ趣旨ニ於テハイツ何時何レノ場合ニ於テモハ變ラナイ、此ノ目的ヲ達成セラル、爲ニ此ノ映畫法ガ廢止ニナツテ、サウシテドウ云フコトヲ規定サレルノカ、是ハ御腹案ガナケレバナラス、只今便宜上私ハ數箇條ニ互ツテ御話ヲ致シマシタガ、是等ノ完全ニ遂行スル爲ニハ代案トシテドウ云フ御腹案ガアルカ、ソレガ一番必要デアリマス、殊ニ今ノ文部省トシテ教育映畫ニドレダケノ力ヲ盡サレルノカ、業者々々ト云フヤウナコトヲ言ヒマスケレドモ、此ノ仕事ヲ推進發達セシメルニハ、ドウシテモ協會ト云フモノノ働キニ俟タナケレバナラス、一方ニ於テハ教育映畫ノ方デハ會ガアル、其ノ他ノモノニ於テハ大日本映畫協會ト云フモノガアル、之ヲ十分活用セラレナケレバナラス、ソレニ對スル御考ハドウカ、或ハ豫算ニデモモウ計上シテアルノカドウカ知レマセヌケレドモ、サウ云フヤウナコトヲ率直ニ一ツ伺ツテ、我々ガ多少ナリトモ安心シタイト思フ、安心デハナイ、詰リ

日本ノ文化ヲ向上シ、世界平和ニ貢獻スル爲ニ我々共ハ御職キシタイ、ドウカ一ツ御腹藏ナク大臣ノ御話ヲ伺ツテ見タイと思ヒマス

○國務大臣(前田多門君) 此ノ取締ノ關係ノコトニ付キマシテハ、何レ又國務省ノ政府委員ノ方カラ何カ話ガアルト思ヒマスケレドモ、ソレ以前ノ事柄ニ付キマシテ、只今御尋ノ點ニ付キマシテ、私ノ考ヘテ居ルコトヲ在リノ儘申上ゲタイと思ヒマス、今回ノ映畫法ノ廢止ハ御案内ノヤウナ事情デアリマシテ、寧ろ自由ノ制限壓迫ト云フヤウナ意味ガ強イ爲ニソレハ廢止ヲ命ゼラレ、廢止セザルヲ得ナイヤウナ狀態ニナツタノデゴザイマスガ、映畫法ノ廢止ト云フコトガ即チ映畫其ノモノノ重要性ヲ無クシタト云フコトヲ意味スルモノデハ莫末モナイヤウニ私ハ考ヘマス、否寧ろ法律ガ無クナリマスレバ、イツソノコト映畫ヲ重シ、之ヲ教育方面ニ大ニ活用致サナケレバナリマセヌ、殊ニ一層努メナケレバナラヌコトト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、ソレデ御話ノ如ク此ノ映畫ヲ唯取締ノ方面カラ見ルコトナクシテ、助長シ、之ヲ獎勵シ、之ヲ利用スル、斯ウ云フ方面ニ於キマシテ一層努メテ參リタイト思フノデアリマス、ソレ等ノ具體的ノ問題ニ付キマシテハ、政務次官カラ又御答辯申上ゲルコトガ出來ルデアラウト考ヘマス、吳々モ申上ゲタイと思ヒマスコトハ、映畫法ノ廢止ト云フコトニ依リマシテ、意氣沮喪シテ、當局ト致シマシテハ、映畫ノ利用ト云フコトニ付テハ熱意ヲ冷マシテシマフノダ、或ハ御話ノ如ク教育映畫ニモツト進出シテ參ル、或ハ映畫ノ俳優ヲ指導シテ參ルト云フヤウナ最も重要ナ事柄

ニ付キマシテハ、法規ガゴザイマセヌデモ、一層是カラ努メテヤラナケレバナラヌコトト考ヘテ居ル次第デアリマス、又御示シノ映畫ニ關係致シマスル協會、殊ニ野村子爵ガ非常ニ御骨折ヲ色々ト煩シテ居ルヤウニ承知致シテ居リマスケレドモ、大日本映畫教育會ト云フヤウナモノノ其ノ活動ト云フコトニ付キマシテハ、一層我々共曷日致シ、又御援ケノ出來ルモノナラバ、出來ルダケ御援ケヲ致シタイト斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、御話ノ中ニ何處カノ演説カ何カアツテ、會長ニ文部大臣ガ當ルト云フコトニナツテ居タコトガ變ツタト云フ御話デアリマスガ、是ハ決シテ文部大臣ガ會長ヲセナイコトニナリマシタト云フコトガ、少シモ文部省ガ此ノ會ニ對シマスル所ノ關心ヲ失ツタトカ、熱意ヲ却却シタト云フコトニハ少シモナラナイノデアリマス、實ハ是ハ在リノ儘申上ゲルト、何處カラカノ横槍デモ何デモナイノデアリマシテ、私自身ノ熱意カラシテ致シタコトデアリマス、今後文部省ニ關係ノアリマスル所謂外國團體ノ一切ニ對シマシテ、特別ノ事情ヲ出來マセヌモノハ已マ得ナイケレドモ、原則的ト致シマシテハ、今後若シ役人ガ其ノ會長ヲヤルトカ、副會長ヲヤルト云フヤウナコトハ一切廢メタイ、若シ役人ガ會長ニナルヤウナ仕事ナラバ、文部省自身ガヤレバ宜シイ、外國團體ガ、或ハ民間團體ガヤルト云フ場合ニ於テハ、民間ノ一番此ノ事ニ堪能ナ方ガ、總理ノアル方ガ御當リニナツテ、サウシテ文部省ヲ御援ケ下サルト云フ方ガ宜イノデアルト云フノデ、役人ガ其ノ會長、副會長ヲ致シマスコトヲ原則トシテ一切廢メル、斯ウ云フ方針ヲ

私ハ採リマシタ爲ニ、其ノ適用ノ一ツトシテ、恐ラク映畫教育會ノ方モ文部大臣ガ手ヲ引ク……ト云フト語弊ガアリマスケレドモ、名前ヲ持タナイト云フコトニ相成ツタノデアルト思ヒマスケレドモ、併シ是ハ如上ノ理由カラ來テ居ルノデゴザイマスカラ、決シテ其ノ爲ニ文部省ガ關心ヲ失ツタト云フヤウナ意味ニ一ツ御取リ下サラナイヤウニ御諒解ヲ御願ヒ致シタイト思フノデアリマス、費用等ノ點ニ付キマシテモ御示シノ如ク丁度此處デ見マシタダケデハ、成程如何ニモ總テノ費用ガ、是等映畫ノ問題ニ付テ國家ガ投スル費用トシテハ待弱デアルト云フコトヲ痛感致シマスヤウナ次第デアリマス、他面ニ於キマシテ、財政ハ御承知ノ通り始下破局ノ近イト申サウナ實ニ困難ナ財政狀況デゴザイマスカラ、今後直チニ豫算ノニドレダケ多額ニ費用ヲ計上出來マスカドウカハ、是ハチヨツト考案ヲ要スルヤウナコトデアルト思ヒマス、又此ノ點ニ付キマシテハ、私共ニ致シマシテモ、非常ニ努力致サナケレバナラナイト考ヘテ居リマス、行ク行クハ斯ウ云フ經費等ノ上ニ於キマシテモ、モウ少シ仕事ノ能ク出來マスヤウニ今後努力ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵野村益三君 御趣旨ハ諒承致シマシタ、サウスルト先刻來御話シタ内容ヲ有シテ居ル映畫法ガ廢止ニナリマシテ、尙映畫ノ目的ヲ達成スル爲ニ之ニ代ル所ノ所謂代案、法律デナイニシテモ、サウ云フモノヲ何カ具體的ニ……今ノ御話デアルヨリト仰シタルケレドモ、何カ多少拘束力ノアルモノデナケレバ安心ガ出來ナイト思フ、其處ハドウデスカ

○政府委員 子爵三島清陽君 御質問ノ點デゴザイマスガ、此ノ映畫法ガ廢止サレマシテ、文部省トシテ先ヅヤラナケレバナラナイコトガ相當アルト思ヒマスガ、是ハ必ズシモ映畫法ノ廢止ニナリマシテモ、映畫法ガナクともヤレルコトデゴザイマシテ、之ニ付キマシテ、二、三ヤリタイト考ヘテ居リマスコトヲ申上ゲマス、先ヅ優ニ映畫ノ選奨デアリマス、是ハ從來モ文部省ガヤツテ參ツテ居ルノデアリマス、更角文部省ノ推薦シタ映畫ハツマラナイト云フヤウナ評判ヲ聞キマス、却テ業者アタリデハ文部省デ推薦シテ貰ハナイ方ガ宜イ位ダト云フヤウナコトヲ云フヤウナ聲モ今迄モ耳ニシタノデゴザイマスケレドモ、併シ優良映畫ヲ推薦シテ之ヲ下コ迄モ廣メテ行クト云フコトハ是非必要ナコトト思ヒマスカラ、今回ハ委員ガ全然新シク御願ヲ致シマシテ、サウシテ權威ノアル藝術家トカ、批評家トカ、學者トカ、サウ云フ方々ニ御集リヲ願ヒマシテ、文部省モソレニ加ツテ、矢張り優良映畫ノ選奨ト云フコトヲヤリタイ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマス、先般モ映畫會社ノ首腦部ニ集ツテ觀キマシテ、サウ云フヤウナコトヲ御諮リヲ致シマシタ處ガ、文部省ガサウ云フ態度デヤツテ觀クナラバ非常ニ結構ダカラ是非ヤツテ觀キタイト云フヤウナ御話モアリマシタ、是ハ藝術的ニ立派ナ映畫モ選奨シナケレバナリマセヌ、或ハ教育的ニ立派ナ映畫、色々ノ角度カラ映畫ト云フモノガ見ラレルト思ヒマスカラ、ソレトノ專門ノ方々ニ御願ヒシテ、斯ウ云フ方面ハヤツテ行キタイ、是ハ必ズシモ映畫法ガナクともヤツテ行ケルノデナイカト考ヘテ居リマス、文化映畫ノ認定デゴザ

イマスケレドモ、此ノ文化映畫ヲ映畫法デ無理ニ上映サセルト云フコトハ是ハ善シ惡シノヤウニモ一應考ヘラレルノデアリマス、文化映畫ヲ法律デ以テ無理ニ入レト言ツテ居リマスノハ、私ハ能ク世界ノコトハ存ジマセヌガ、「ドイツ」日本ダケデハナカツタカト思ハレマス、併シ外國デモ澤山良イ文化映畫ハアルノデゴザイマス、却ツテソレヲ法律ガアツタ爲ニ、文化映畫ノ粗製濫造ニナツテ、何デモ彼デモ文化映畫ヲ入レナケレバナラナイモノデアリマスカラ、無理ヲシタト云フコトモチヨイノ今迄開イテ居リマス、將來ハヨリ良イ文化映畫ヲ文部省アタリガ十分力ヲ盡シテ作ツテ貰フコトニ努力シタ方ガ極メテ宜イノデナイカト今ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ點モ十分研究致シマシテ、文化映畫ト云フモノノ向上ハ非常ニ必要ノコトデモゴザイマスカラ、是ハ野村子爵ノ御述ノ通り非常ニ必要ノコトト思ヒマスカラ、此ノ點ハ十分ニ研究シヤツテ觀キタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ一般映畫ノ認定デゴザイマスケレドモ、是ハナカノムツカシクナツテ來ルト思ヒマス、殊ニ今迄ハ兒童ト云フヤウナモノモ映畫館ニ自由ニ出入リガ出來テ居ツタケレドモ、今後若シ映畫ノ檢閱ノ枠ガ外レテ參リマス、或ハ子供ニ見セテハイケナイト云フ映畫ガ相當出來テ來ルノデナイカト思ヒマスカラ、此ノ點ニ付キマシテハ、文部省トシテハ非常ニ關心ヲ持ツテ參ラナケレバナラヌコトニナツテ來ルト考ヘマス、サウ云フ方面カラシテ兒童向ノ映畫ト云フヤウナモノヲ矢張り選奨シテ行クト云フ積極的ノ考デハ非常ニ必要デヤナイカト考ヘラル、ノデアリマ

シテ、サウ云フ方面モ研究ヲ十分致シ
マシテヤッテ行キタイト考ヘテ居ルノ
デアリマス、又子供ニ爲ニナラヌ映畫
ヲ見セナイ、サウ云フ惡イ映畫ヲ見セ
ナイノハドウシタナラバ宜イカト云フ
コトデゴザイマシテ、之ヲ十分研究シ
ナケレバナリマセヌケレドモ、私ハ「ア
メリカ」ノコトハ能ク存ジマセヌケレ
ドモ、私ガ「アメリカ」ヲ旅行シテ居ッ
タ時ノ様子デハ、是ハ「アメリカ」ハ州
ニ依ッテ違ヒマセケレドモ、確カ子供
ハ映畫館ニ自由ニ入ルコトガ出來ナイ
ヤウニナツテ居ツタカト思ヒマス、家
族ガ連レテ行ツテ呉レル場合ニハ宜イ
ト云フコトガドウモ普通ノヤウデアリ
マシテ、「ヨーロッパ」デモ是ハ野村子
爵ノ方ガ能ク御承知ダト思ヒマセケレ
ドモ、矢張り子供ノ映畫館ノ入場ハ其ノ
映畫ニヨリ自ラ制限ガアルノデヤナイ
カト思ヒマス、我が國デハ斯ウ云フ規
定ガナクナルスト、將來ハ文部省
ト致シマシテモ十分ニ考慮致シマシテ
善處致シタイト斯ウ考ヘテ居ル次第デ
ゴザイマス、併シ是ハドウ迄モサウ云
フ映畫ヲ觀セナイト云フ方デゴザイマ
スガ、積極的ニ御話ノヤウナ良イ映畫
ヲ兒童ニ見セタイ映畫ヲ推奨シ之ヲ普
及サセ、向上サセテ行クト云フ面ノ方
ガヨリ一層大切ノヤウニ考ヘラレマス
カラ、此ノ點ニ付キマシテモ十分ニ御
趣旨ノ程ヲ尊重致シマシテヤッテ參リ
タイト斯ウ考ヘテ居ル次第デゴザイマ
ス、大體文部省ニ於キマシテ此ノ法案
ヲ廢止致シマスコトニ付テハ實際問題
トシテノ處置ト云フヤウナコトハ其ノ
位デハナイカト思ヒマスガ、モウ一ツ
映畫學校ノコトヲ仰シヤイマシタケレ
ドモ映畫學校ハ野村子爵ノ御承知ノ通
リ映畫協會ガ持ツテ居ツタノデアリマ

ス、アレハ各種學校ノ廢止ノ時ニ廢止
サレタノデアリマスガ、最近映畫協會
ガ映畫公社トナリマシテ、此ノ映畫公
社ガ又先月デゴザイマシタカ廢止ニ相
成リマシタ、處ガアノ學校ハ燒ケズニ
校舍ダケ殘ツタサウデアリマス、何カ
アノ學校ノ復興ト云フヤウナコトモ考
ヘ、言ハレテ計畫サレテ居ルヤニ聽イ
テ居リマスガ、斯ウ云フ學校ノヤウナ
モノモ文部省ト致シマシテハ出來ルダ
ケアツテ欲シイト云フ考デ助長シテ行
キタイト云フヤウナコトモ考ヘテ居ル
次第デアリマス

○子爵野村益三君 大體御趣意ハ諒承
致シマシタガ、兎ニ角十分此ノ際映畫
ノ重要性ヲ更ニ一認メラレテ、出來
ルダケノ御助力ヲ願ヒタイト思フノデ
スガ、ソレニ付テドウデスカ、文部當
局竝ニ内務當局ニ御相談旁々御意見ヲ
伺フノデスカ、突然相當ノ人ヲ常設館
ニ廻ラシメルト云フコトハ私ハ效果ガ
アルト思ヒマス、例ヘバ映畫法廢止ニ
依ツテドウ云フ影響ヲ蒙ツタカト云フ
ヤウナコトガ行ケバ分ル、如何ニシテ
之ヲ善導シテ行カウ、改良達ヲ圖ル
ト云フ點カラ云ツテモ現狀ヲ見レバ直
グ分ル、今三島政務次官ガ幼兒ノコト
ヲ言ハレマシタガ、子供ノ映畫館ニ連
レテ行クト云フノハ子供ノ爲ニモ宜ク
ナイシ、又觀覽者ノ爲ニモ宜クナイ、
ア、云フ汚レ所ニ抵抗力ノナイ乳呑兒
ヲ連レテ行クト云フコトハ、ドウ云フ
悲惨ナオ母サンノ心情ダラウト云フコ
トヲ考ヘ、尤モオ母サン達モ子供ヲ連
レテ行カケレバ家ニ置イテ行ク譯ニ
モ行カズ、ドウシテモ一緒ニ連レテ行
カナケレバナラヌト云フ心情モ認メナ
ケレバナリマセヌケレドモ、實ニ衛生
上、空氣ノ上カラ云ツテモ憂慮ニ堪ヘ

ナイ、兎ニ角アノ狀態ヲ見ラレナケレ
バ本當ノコトハ分ラナイ、一ツ御審議
ニナリマシテ、映畫常設館查察官ト云
フ譯ニモ行カナイデセウケレドモ、サ
ウ云フコトヲ一ツ御考ニナツテ即刻御
實行ニナル、サウシテ本當ノ映畫ノ眞
目的ヲ發揮スル、是ガ私ハ第一歩デア
ルト思ヒマス、其ノ點ニ付テドウデス
カ、少クトモ大臣ノ御考ヘハドウデス
カ

○國務大臣(前田多門君) 御尤モノコ
トデアルト思ヒマス、サウ云フ特別ノ
官ヲ設ケト云フコトハ如何カト思ヒマ
スガ、殊ニ社會教育ノ任ニ當ツテ居リ
マス者ハ入レ代リ立チ代リ能ク實際ノ
現場ヲ見ルト云フコトハ非常ニ大切ノ
コトデアルト思ヒマス、私ヲ初メ精々
勉強致シマシテ映畫ヲ研究スルコトニ
致シマス

○子爵野村益三君 只今ノ文部當局竝
ニ文部大臣ノ御答辭ニ満足致シマス、
ドウゾ御實行ヲ願ツテ私ノ質疑ヲ終リ
マス

○委員長(男爵向山均君) 何か御發議
ゴザイマセヌカ、御發議ゴザイマセ
ヌケレバ本法律案ハ原案通り可決スル
コトニ御異議ノ方ハゴザイマセヌカ
【異議ナシト呼ブ者アリ】

○委員長(男爵向山均君) ソレデハ映
畫法廢止法律案ハ原案通り可決スルコ
トニ決定セラレマシタ、本日ハ是デ終
リタイト存ジマス、明日ハ本會議ガア
ルサウデゴザイマスカラ、本會議デ當
委員會ニ併託サルベキモノガ數件アル
ヤウデアリマス、政府ノ説明ヲ聽キマ
シタ後ニ開キタイト思ヒマスカラ、明
日ハ午前十一時カラ開クコトニ致シマ
ス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後二時二十三分散會

出席者左ノ如シ

委員長 男爵向山 均君
副委員長 子爵穴戸 功男君
委員

侯爵四條 隆德君
侯爵佐竹 義榮君
伯爵二荒 芳徳君
子爵野村 益三君
子爵河瀬 眞君
男爵矢吹 省三君
男爵三須 精一君
男爵古市 六三君
竹内 可吉君
大木 操君
瀧 正雄君
松本 學君
合田 健吉君
伊藤 傳七君
渡邊 覺造君

國務大臣 文部大臣 前田 多門君

政府委員 法制局長官 橋橋 渡君
法制局次長 入江 俊郎君
内務書記官 鈴木 幹雄君
文部政務次官 子爵三島 通陽君
文部省社會 關口 泰君
教育局長

厚生政務次官 矢野庄太郎君
厚生參事官 田中和一郎君
厚生省勤務局長 佐伯 敏男君
商工政務次官 木暮武太夫君
商工參事官 男爵山根 健男君
商工省總務局長 菅波 經事君

昭和二十年十二月十八日印刷

昭和二十年十二月十九日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局